

2020年度 事業報告書

社会福祉法人エデンの園

障がい者支援施設エデンの園 エデンの園ショートステイ エデンの園ふれあい
エデンホーム三名 エデンホーム森永 ほのかショートステイ
エデンの園相談支援事業所 放課後等デイサービス麦わらぼうし
就労継続支援事業B型つむぎ 地域貢献事業じょいほっふ

2020年度事業報告書 目次

	(ページ数)
1. 2020年度を振り返って	1
2. 2020年度業務日誌	5
3. 本部事業（理事会・評議委員会・寄付金）	17
4. 各種委員会報告	19
5. 第一福祉課	32
6. 障がい者支援施設エデンの園	34
7. エデンの園ショートステイ	48
8. エデンの園ふれあい	49
9. エデンホーム三名	52
10. 第二福祉課	54
11. エデンホーム森永	55
12. ほのかショートステイ	58
13. エデンの園相談支援事業所	59
14. 放課後等デイサービス麦わらぼうし	61
15. 就労継続支援事業B型つむぎ	64
16. 地域貢献事業じょいほっふ	66
17. 医務保健課	67

1. 2020年度を振り返って

業務執行理事 廣瀬 恵

第二次中長期計画とともに2020（令和2）年度を迎えた。計画中、最も力を入れたいのは人材育成である。職員各々が、それぞれの立場で役割を果たし、専門性を身に着けることで多様化する利用者のニーズに応えたい。研修委員会による階層別研修や介護技術等の専門研修を行った。

中長期計画に沿って多様な働き方を可能にする為、公平な人事システム構築を目的に抜本的な人事評価制度及び給与規程の改正を行った。また、「医務保健課」を創設し、看護師、栄養士、理学療法士で編成し、利用者の高齢化に対して疾病の予防を図ると共に、法人全体で適切な医療体制を構築することを念頭に置いた。さらに昨今の自然災害が福祉施設に及ぼす影響も甚大になりつつあるため、「事業継続計画（BCP）」を作成した。

今年度、特筆すべきことは、新型コロナウイルス感染が全世界に蔓延し、法人の運営にも利用者支援にも支障をきたした、ということである。感染防止のために利用者の外出、外泊の禁止や制限、家族や業者の園内立ち入りの制限を行った。行事等も中止や縮小が余儀なくされるなど、利用者は不自由な生活を強いられる場面があった。災害対策会議を2週間ごとに行い、感染状況に応じて、規制の調整を行った。衛生用具の確保や使用手順の研修、陽性者が認められた場合を想定したマニュアルの確認を行った。

以下、2020年度重点項目に沿って振り返りたい。

1. 法人理念を学び、理念に沿った経営を行う。

理念塾を6月に開催。職員、役員が集った。「一人ひとりの可能性を求めてリハビリテーションを推進します」という3番目の理念について講義を行う。身体的、職業的、経済的なリハビリテーションだけでなく、「生きがいさがし」という側面からリハビリテーションをとらえた。また、階層別研修で講師が理念に基づいて仕事をすべきであることを力説した。

2. 権利擁護を推進する。

事業所ごとの職員会には権利擁護研修を組み込んだ。また権利擁護に関する標語を定め、唱和等して利用者の権利擁護を意識した。しかし権利擁護とは、「虐待のないこと」という捉え方にとどまり、「意思決定支援」「生活環境の整備」「当たり前の生活をめざす」という視点がまだ根付いていないという反省が挙がった。

権利擁護に関する自己チェックも3年目を迎えた。チェック慣れという状況も一部見られた。法人職員向けの「びえんと」を3回（13～15号）出した。また、1999年に策定した「支援の心得（行動規範）」を見直した。

なお虐待に関する通報は法人全体で3件だった。いずれも未認定であった。

3. 生活シート（24時間シート）の作成により利用者支援と生活環境改善、充実した日中活動の足掛かりを作る。

職員中心の業務ではなく、利用者の生活に寄り添う支援をより細かく行えるよう、一人一人に目を向ける事を可能にする方法がユニットケアである。その為、入所利用者を6つにグループ分けし、職員の固定配置を整えた。

シートの必要性について研修により確認し、アセスメントの充実に向け取り組み、シートへの落とし込みを行っている。まだまだ十分とは言えないが、利用者をより深く理解しようとする姿勢が見えてきた。

職員によって支援方法が違わないよう生活シートを活用し、利用者の自立支援・可能性の追求を今後も期待したい。

4. 中長期ビジョンにそった取組みを行います。

第2次の中長期計画が今年度より始まった。

①法人独自の研修制度を作る

研修委員会がリードして新任職員研修をはじめ、階層別研修、専門研修などを行った。新型コロナ感染防止の為にリモートで行ったものもあったが、それぞれに充実した研修が行われた。受講アンケートでも、研修の必要性、有効性が述べられている。また、事業所、ユニット（障害者支援施設）がチーム研究発表を行った。利用者の生活の質の向上に役立っている。願わくは、これらの研修をきっかけに、自身やチームがテーマを見つけて、継続的に学びたい。

②働き方の関すること（同一労働・同一賃金、新しい人事制度）

コンサルタントを依頼し、現状分析を行ったうえで、多様な働き方を選択できる制度とした。成果として全職員を無期雇用とし、正職員とした。また、同一労働・同一賃金の視点も入れながら職員の働き方の希望を取り入れた4パターンの就労コースと短時間業務コース、計5コースを整備した。運用は2021年度からである。

③各事業所の収入（報酬）と支出の管理とともに各事業所が報酬請求を行う

これまで総務課が担っていた報酬請求業務について、各事業所における収入活動の分析を充実させる観点から、各サービス管理責任者に対し請求業務を移行した。全ての事業所において、通常の操作に関しては安定しており、請求業務に対しての大きな課題は見受けられない。ただし、各担当者が自ら考え、加算を取得するための要件に関する知識的な部分や変則的な操作については、総務課からの援助が必要であり、現状「独立」には届いていない状況がある。

④各事業所の定員充足を図る

次表のとおりであるが、入所施設、両GH、ふれあいは安定している。つむぎも利用率が毎年伸びている。麦わらぼうしは定員を5名増やしたこともあり、利用率は落ちている。これは町内3か所目の放課後等デイサービスが誕生したことも理由としてあげられる。

⑤高齢者支援の仕組みについて調査や研究を行う

GH利用者の65歳問題に対する方針は打ち出せなかった。今年度は65歳になっても障害福祉サービスを継続して受給することができる要件や法人合併等について読み合わせに終わる。エデンの園では利用者1名の尊厳ある最期を看取った。喀痰吸引研修受講はコロナ感染予防のために0人、現在看護師の他、有資格者は4名。

5. その他（特記事項）

○川越瑞枝理事長3月25日辞任、同日廣瀬恵が理事長に就任する。

○放課後等デイサービス麦わらぼうし、定員を10名から15名に変更する。

○障害者支援施設エデンの園、6エリア分けて支援（ユニットケア）をはじめた。（2020年3月より）

○新型コロナウイルス関係

- ・必要な会議は3密を避けるためにオンラインで行う（スカイプ）
- ・家族会は6月、10月のみ開催、2月に連携委員会開催。ひと月に1回程度家族会開催の可否と合わせて、施設の状況等を文書で報告する。
- ・じょいほっぷは6月、9月～11月のみ開業
- ・感染拡大に伴い、職員の県外出張は0。県内も状況に応じて不参加
- ・職員の県外旅行等を自粛要請。必要不可欠なら2週間自宅待機、PCR検査によって復帰
- ・8月18日～8月21日 4GH、入所16名隔離。職員家族（同居ではないが濃厚接触）陽性のため
- ・中国在住の日本人より4月6000枚のマスク寄贈があった。

○社会福祉充実計画、2020年度分はコロナの影響で1件のみ実施。未実施項目は2021年度に行うこととなる。

各事業所の概況（表1）

	事業所名	開始年月	定員	備考
1 2	障害者支援施設エデンの園 (施設入所支援) (生活介護)	1978年(S53)4月	60 60	・精神薄弱者更生施設(1978) ・知的障害者更生施設(2001) ・自立支援法施行に伴い、障害者支援施設に移行(2012)
3	エデンの園ショートステイ (短期入所)	1991年(H3)		併設型2、空床型
4	エデンの園ふれあい (生活介護)	2002年(H14)4月	20	・法人単独(2002) ・ふれあい分場(2003) ・自立支援法施行に伴い、生活介護へ移行(2012)
5	エデンホーム三名(共同生活援助)	2019(平成31)3月	12	みらい8名、のぞみ4名
	○ホームみらい	1999年(H11)	8	法人単独(1999年)4人 地域生活支援ホーム(2000年) グループホーム(2001年) 新築移動(2009)8人
	○のぞみの家	2007年(H19)	4	地域生活支援ホーム(2007) グループホーム(2009)
6	麦わらぼうし (放課後等デイサービス)	2016年(H28)11月	15	2020(令2)年度より 定員5人増
7	つむぎ (就労継続B型)	2018年(H30)4月	20	綾町
8	エデンホーム森永 (共同生活援助)	2019年(H31)3月	14	
	○青い鳥	2016年(H28)10月	7	
	○ほのか	2019年(H31)3月	7	
9	ほのかショートステイ (短期入所)	2019年(令和1)5月	1	併設型1
10	エデンの園相談支援事業	2014年(H26)4月		特定相談
11		2016年(H28)4月		指定障害児相談

地域貢献事業

12	じょいほっぷ	2015年(H27)1月	10	エデンの園内
13	生活困窮者に対する相談支援事業	2015年(H27)4月		相談支援事業所内

6. 利用者の年齢分布（施設とグループホーム）

（歳）2021年4月1日

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	平均	平均
施設 59人	男 29人	0	1	6	10	7	5	0	0	47.0	55.0
	女 30人	0	0	0	5	11	9	4	1	59.3	
GH 26人	男 18人	0	0	1	2	9	5	1	0	56.6	54.4
	女 8人	0	0	1	1	3	2	1	0	60.0	
85人		0	1	8	18	30	21	6	1		54.7

7. 入所者の施設での生活年数状況

（年数）2021年4月1日

		0～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31～35	36～40	41以上	平均（年）	平均
施設 59人	男 29	3	2	3	7	0	4	5	0	5	23.2	25.9
	女 30	0	1	3	4	4	0	8	3	7	28.5	
GH 26人	男 18	9	0	4	5	0	0	0	0	0	9.6	7.8
	女 8	5	3	0	0	0	0	0	0	0	3.9	

8. 利用定員と実績

（ア）利用率の推移

（2018～2019年度）・2020年度利用率と一日当たりの平均利用者数、除くショートステイ

事業所名	定員	2018	2019	2020
障害者支援施設エデンの園	60	98.0%	98.0%	99.9% (59.9)
障害者支援施設エデンの園（生活介護）	60名	90.0%	93.2%	95.5% (57.3)
エデンの園ショートステイ	併2	64.8%	77.1%	59.9% [461]
エデンの園ふれあい（生活介護）	20	88%	96.0%	96.5% (19.3)
エデンホーム三名（グループホーム）	12名	99%	98.3%	94.2% (11.3)
エデンホーム森永（グループホーム）	14名		97.1%	97.9% (13.7)
ほのかショートステイ（1名）	1名		39.3%	25.2% [92]
麦わらぼうし（放課後等デイサービス）	15名	88%	94.0%	84.0% (12.6)
つむぎ（就労継続B型）	20名	70%	85.0%	92.5% (18.5)
じょい・ほっぷ（地域貢献）	10名	49%	27.0%	26% (2.6)

2019年度GHは4月～2月まで1事業所、3月から2事業所とした。

2020年度麦わらぼうし定員を10名から15名に増員した。

短期入所（ ）内数値は利用実数

9. 相談支援実績

（人）

	新規契約者	現契約者数	計画・継続実績	事業所変更	終了者
2020年度	58 (33)	201 (65)	692 (289)	73 (43)	14 (6)

（ ）はその内の児童数

※今年度の終了者は、事業所変更（73人）、サービス利用終了（14人）

2. 2020年度業務日誌

2020年度 日誌 4月

日	曜	内 容
1	水	辞令交付、全体会、新任職員（11名）研修、
2	木	新任職員研修
3	金	新任職員研修、歯科往診、自動ドア点検（オリエント産業）
4	土	土曜学校（廣瀬）
5	日	
6	月	新任職員研修、感染対策委員会
7	火	新任職員研修、防災委員会、第1福祉課会、研修委員会
8	水	新任職員研修、内科診察（田中DR）、害虫駆除（ダスキン中川）
9	木	新任職員研修、経営会議
10	金	新任職員研修、インターネット音楽室追加工事（NTT）
11	土	土曜学校（廣瀬）
12	日	
13	月	新任職員研修、感染対策委員会、給食連絡会（富士産業）
14	火	新任職員研修 運営会議、人事制度見直し検討会（日本経営 WEB 会議）
15	水	新任職員研修、障害区分認定調査（EH 三名）
16	木	新任職員研修 全国に緊急事態宣言発令（コロナウィルス感染予防）
17	金	新任職員研修、総務課職員会
18	土	イースター召天者記念会（廣瀬）、職員会（各事業所ごと） 一粒の麦 317 号発行
19	日	
20	月	感染対策委員会、サービス調整会議、環境整備（川崎様）
21	火	
22	水	新任職員キャリアビジョン研修（～24）、記録研修（入所）
23	木	労働安全衛生委員会、記録研修（つむぎ）、請求研修（つむぎ、EH 森永）
24	金	新任職員研修（キャリアビジョン発表会）
25	土	土曜学校（廣瀬）
26	日	
27	月	会計定期巡回（飯田税理士事務所）
28	火	環境整備（川崎）
29	水	昭和の日
30	木	請求研修（麦わらぼうし）

2020年度 日誌 5月

日	曜	内 容
1	金	辞令交付（押川敦志）
2	土	土曜学校（廣瀬）
3	日	憲法記念日
4	月	みどりの日、
5	火	こどもの日、
6	水	振替休日
7	木	医務保健課会、感染対策委員会、環境整備（川崎）
8	金	第1福祉課委、第2福祉課会、家族会へ5月の家族会中止と面会・帰省連絡
9	土	土曜学校（廣瀬）
10	日	
11	月	新任職員研修
12	火	運営会議、権利擁護虐待防止委員会、電気保安点検・測定（九州電気管理協同組合） 浄化槽合併処理施設点検（産商）
13	水	グループホーム職員会、髪カット（川越理容店）、内科診察（田中医院）、害虫駆除（ダスキン中川）
14	木	初任者研修（8名）、ふれあい職員会 緊急事態宣言解除（コロナウイルス感染予防宮崎県含む39県）
15	金	経営会議、口腔ケア（宮崎歯科福祉センター）
16	土	土曜学校（廣瀬）、法人職員会、障がい者支援施設職員会
17	日	
18	月	
19	火	給食連絡会（富士産業）、防災委員会、給食連絡会（富士産業）
20	水	医務保健課会議（コロナウイルス対応）グリストラップ清掃（環境未来恒産）、研修委員会
21	木	緊急事態宣言解除を受け、生活介護、ショートステイ再開、面会再開 人事制度見直し検討会（日本経営 WEB 会議リモート）、ガバナンス委員会
22	金	
23	土	土曜学校（廣瀬）、初任者研修、ICT委員会、
24	日	
25	月	環境整備（川崎）～27
26	火	医務保健課会、記録員会
27	水	令和元年度決算報告会（飯田税理士事務所）、髪カット（川越理容）
28	木	パート職員研修会（5名）、法人職員研修会（コミュニケーション18名）、労働安全衛生委員会、医務保健課会議
29	金	パート職員研修会（5名）、事業所代表者会議
30	土	土曜学校（廣瀬）、コロナウイルス感染が下火傾向、次週より外泊可能にする
31	日	

2020年度 日誌 6月

日	曜	内 容
1	月	法人監事事前監査（～3）
2	火	エレベーター点検（フジテック）
3	水	法人事務局会
4	木	感染予防研修、法人内研修（コミュニケーション）
5	金	合併処理施設点検（産商）、歯科往診（歯科福祉センター）
6	土	土曜学校（金牧師）
7	日	
8	月	第1回法人理事会
9	火	事故防止委員会、第一福祉課会、研修委員会、会計巡回（飯田税理士事務所）
10	水	環境整備（川崎）、髪カット（川越理容）
11	木	
12	金	
13	土	土曜学校（印牧師）
14	日	
15	月	運営会議、
16	火	サービス管理責任者研修会、サービス調整会議 離職者訓練高齢者と福祉環境講師（～18 宇都宮）
17	水	法人内階層別研修・中堅職員～19、内科診察（田中外科医院） 発達障害支援者スキルアップ研修（海野 ひなた武道館）
18	木	法人内研修（コミュニケーション）
19	金	歯科往診（口腔保健支援センター）、ICT委員会、中堅職員研修会
20	土	土曜学校（海老原牧師）、家族会、チーフ会、理念塾（アリストンホテル宮崎）
21	日	
22	月	振替休日
23	火	利用者居室壁紙工事（森工務店）、浄化槽汚泥汲み取り（産商）、記録委員会、精神科診察（米良 DR）、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程検討会議（甲斐さ）
24	水	法人第1回評議員会、髪カット（川越理容）
25	木	労働安全衛生委員会、医務保健課会
26	金	経営会議、会計巡回（飯田税理士事務所）、妻高校就職説明会（宇都宮、光森）
27	土	土曜学校（山口牧師）
28	日	
29	月	人事制度見直し検討会（日本経営）、第2福祉課 AED 講習
30	火	給食連絡会（富士産業）

2020年度 日誌 7月

日	曜	内 容
1	水	
2	木	感染対策委員会、福祉施設における食の安心安全研修（池水、森崎）
3	金	歯科往診（口腔保健支援センター）
4	土	土曜学校（金牧師）
5	日	
6	月	感染対策委員会（県内18例目）
7	火	第1福祉課会、研修委員会、害虫駆除（ダスキンヒムカ）
8	水	内科診察（田中外科医院）、髪カット（川越理容）、事故防止対策委員会（リモート）
9	木	
10	金	第2福祉課会（リモート）
11	土	土曜学校（廣瀬）
12	日	
13	月	
14	火	権利擁護虐待防止委員会、運営会議
15	水	
16	木	労働安全衛生委員会、ガバナンス委員会
17	金	経営会議
18	土	土曜学校（理事長）、法人職員会（リモート）、障がい者支援施設職員会
19	日	
20	月	人事制度見直し検討会（日本経営）
21	火	中堅職員研修、防災訓練（ホームみらい）、事故防止対策委員会
22	水	LCT会、髪カット
23	木	
24	金	
25	土	新型コロナウイルス感染警報レベル3発令（エデンの園防災）、土曜学校（廣瀬）
26	日	第1回災害対策委員会（新型コロナウイルス感染対策）
27	月	新型コロナウイルス感染拡大にかかる法人内事業所方針・取り決め周知（リモート会議）
28	火	
29	水	
30	木	環境整備
31	金	経営会議（新型コロナウイルス休暇、私生活指針）

2020年度 日誌 8月

日	曜	内 容
1	土	土曜学校（廣瀬）
2	日	
3	月	新任職員オリエンテーション（長友佐保里）、空調機器更新契約（中村設備工業）
4	火	防災委員会、相談支援事業祖職員会、相談支援専門員初任者研修（多目的ホール4名 DVDによる）
5	水	クラブ活動、相談支援専門員初任者研修（多目的ホール4名）、髪カット、
6	木	エデンホーム森永職員会、医務保健課会
7	金	新型コロナウイルス感染時の緊急体制について発表（事務局長）
8	土	土曜学校（廣瀬）
9	日	
10	月	
11	火	宮崎県指導監査準備会、第1福祉課会、研修委員会
12	水	新型コロナウイルス対策研修（防護服の着脱）
13	木	新型コロナウイルス対策研修（防護服の着脱）
14	金	環境整備
15	土	土曜学校（廣瀬）
16	日	
17	月	環境整備、災害対策員会、
18	火	運営会議、新型コロナウイルスについて法人非常事態宣言 （施設の一部の利用者、GH利用者の隔離、ふれあい休業、つむぎ法人外部利用者のみ） （事業所間の協力）
19	水	中堅職員研修（～20）
20	木	
21	金	隔離解除（施設と3ホーム）
22	土	隔離解除（ホームみらい）土曜学校（廣瀬）、法人職員会、施設職員会、麦わらぼうし職員会
23	日	
24	月	給食連絡会、コンテナ2棟、トイレ1棟設置
25	火	
26	水	経営会議、人事制度見直し検討会（日経・宮崎清水町協会&リモート）
27	木	会計巡回（飯田事務所）、労働安全衛生委員会、医務保健課会、エデンホーム三名職員会
28	金	
29	土	土曜学校（廣瀬）、つむぎレクリエーション（綾川壮）
30	日	
31	月	

2020年度 日誌 9月

日	曜	内 容
1	火	新任職員オリエンテーション（中澤）
2	水	東諸地域福祉コーディネーター連絡会（坂元）
3	木	災害対策委員会（台風10号）
4	金	麦わらぼうし職員会、台風対策
5	土	土曜学校（金牧師）
6	日	台風10号のため「青い鳥」、「ほのか」へ避難
7	月	
8	火	じょいほっぷ再開、国勢調査説明会、相談支援事業所職員会、防災委員会
9	水	
10	木	障がい者支援施設エデンの園・エデンの園、ふれあい実地指導・指導監査
11	金	
12	土	土曜学校（印牧師）
13	日	
14	月	24時間生活シート研修、第1福祉課会
15	火	運営会議、24時間生活シート研修
16	水	24時間生活シート研修
17	木	日本経営コンサルタント会議 24時間生活シート研修
18	金	24時間生活シート研修、災害対応力強化研修（シーガイヤ 林）
19	土	土曜学校（荒平牧師）、法人職員会、障がい者支援施設職員会
20	日	
21	月	敬老の日
22	火	秋分の日
23	水	エデンの園防災訓練、環境整備、ガバナンス委員会
24	木	敬老会、環境整備、リーダー研修～25
25	金	環境整備
26	土	土曜学校（山口牧師）
27	日	
28	月	給食連絡会、環境整備、リーダー研修②～29
29	火	
30	水	経営会議、医務保健課会、労働安全衛生委員会、広報委員会、厨房空調工事

2020年度 日誌 10月

日	曜	内 容
1	木	感染対策委員会、
2	金	歯科往診（歯科福祉センター）、麦わらぼうし職員会
3	土	土曜学校（金牧師）
4	日	
5	月	新任職員研修会（～15）
6	火	貯水槽点検
7	水	災害対策委員会（台風14号）、職場研修担当者養成研修（四位～8）
8	木	エデンホーム森永職員会、災害対策委員会（台風14号）、 新型コロナウイルス感染施設報告会（シーガイヤ 緒方・東屋）
9	金	カーテン入れ替え工事（キングラン）、第2福祉課会
10	土	土曜学校（印牧師）
11	日	
12	月	施設実習（宮崎国際大学～14）、カーテン入れ替え工事（キングラン）
13	火	権利擁護・虐待防止委員会、運営会議
14	水	内科診察（田中医院）、事故防止対策委員会
15	木	日本経営コンサルタント
16	金	経営会議
17	土	土曜学校（海老原牧師）、家族会、法人職員会、障がい者支援施設職員会、一粒の麦発行（319号）
18	日	
19	月	自動ドア点検、就労体験（ココリコより1名～23）
20	火	福祉職員スタートアップ研修講師（甲斐さ）
21	水	麦わらぼうし福祉車両寄贈式（オリックス宮内財団）、浴室ボイラー修理工事 改正育児休業法同一労働同一賃金説明会（光森） 生涯現役セミナー（廣瀬、宇都宮）
22	木	労働安全衛生委員会、医務保健課会
23	金	地域コーディネーター連絡会・スキルアップ研修（光森）
24	土	土曜学校（山口牧師）、令和3年度新任職員採用試験（1名） 強度行動障がい支援者養成研修（海野、兒玉、中嶋、築地）
25	日	
26	月	人事制度見直し検討会（日本経営）
27	火	精神科診察（米良DR）、消防設備点検（協同防災）、家族会ボランティア（4名）、髪カット、 福祉職員キャリアパス対応生涯研修チームリーダー研修（～28 寺田）同 講師（甲斐さ）
28	水	環境整備
29	木	コミュニケーション研修
30	金	
31	土	土曜学校（浅野牧師）

2020年度 日誌 11月

日	曜	内 容
1	日	
2	月	24時間生活シート研修、新任職員オリエンテーション（野田、日高誠）
3	火	文化の日
4	水	24時間生活シート研修、タイムマネジメント研修（保利）
5	木	24時間生活シート研修、事故防止対策委員会研修、施設喫煙所工事完了 タイムマネジメント研修（岡本、園田）
6	金	麦わらぼうし職員会、24時間生活シート研修、社会生活支援特別加算について研修（）
7	土	土曜学校（金牧師）
8	日	
9	月	体験実習（～13 リタリコ）
10	火	消防立入検査
11	水	協会けんぽ保健指導
12	木	害虫駆除（ダスキンひむか）、事故防止委員会研修会
13	金	
14	土	土曜学校（印牧師）
15	日	
16	月	研修委員会
17	火	経営会議、権利擁護委員会、運営会議 環境整備（川崎氏～20）
18	水	メンタルヘルス研修（待木美奈子氏）、国富町コーディネーター部会
19	木	人事制度見直し検討会（日本経営）、事故防止委員会研修会
20	金	歯科往診
21	土	土曜学校（荒平牧師）、BCP打合せ（施設・グループホーム）、 法人職員会、障がい者支援施設職員会、施設見学（学生2名）
22	日	
23	月	勤労感謝の日
24	火	精神科診察（米良DR）
25	水	人事制度見直し検討会（日本経営）職員への説明、経営会議、医務保健課会
26	木	労働安全委員会、中堅職員研修（～27）、事故防止対策委員会研修会
27	金	ふれあい消防立ち入り検査
28	土	土曜学校（施設長）
29	日	
30	月	

2020年度 日誌 12月

日	曜	内 容
1	火	
2	水	
3	木	人事制度見直し検討会（日本経営）考課者研修会
4	金	
5	土	土曜学校（リモート金牧師）
6	日	
7	月	大清掃週間（～11）、職場体験実習1名～8、エレベーター点検
8	火	第2回理事会、環境整備（川崎氏～11）、研修委員会
9	水	
10	木	
11	金	年末のあいさつ回り（理事長、廣瀬）
12	土	土曜学校（録音放送 印牧師）
13	日	
14	月	
15	火	人事制度見直し検討会（日本経営）、臨時経営会議、ごしょつがるリンゴ贈呈式参加
16	水	
17	木	サービス調整会、権利擁護・虐待防止委員会、運営会議
18	金	環境整備、GH三名職員会
19	土	土曜学校（リモート山口牧師）、実践研究発表会・表彰式、法人職員会、障がい者支援施設職員会、麦わらぼうしクリスマス会（浅野牧師）
20	日	
21	月	つむぎ（工賃支給日、クリスマス会）環境整備（川崎氏～24）
22	火	医務保健課会、労働安全衛生委員会、サービス管理責任者研修（リモート）
23	水	
24	木	クリスマス会（山口牧師 リモート）
25	金	ふれあいクリスマス会（印牧師 リモート）、つむぎ工賃アップ研修
26	土	土曜学校（リモート海老原牧師）
27	日	
28	月	仕事納め
29	火	
30	水	
31	木	

2020年度 日誌 1月

日	曜	内 容
1	金	元日
2	土	
3	日	
4	月	仕事始め（理事長挨拶 リモート）、新任職員研修
5	火	
6	水	災害対策委員会、感染対策委員会
7	木	エデンホーム森永職員会（リモート）、自動ドア点検
8	金	麦わらぼうし職員会、事務局会、合併浄化槽の点検（産商）
9	土	土曜学校（録音放送 印牧師）、つむぎ職員会、宮崎県独自の緊急事態宣言発令
10	日	
11	月	成人の日
12	火	相談支援職員会、第1福祉課会、研修委員会、防災委員会、男性トイレ補修工事 強度行動障害支援研修（DVD 福島・横山）、ふれあいミーティング
13	水	人事制度見直し検討会（リモート 日本経営）、害虫駆除（ダスキンひむか 食堂）
14	木	預かり金規程変更に伴う説明会（エデンホーム森永）
15	金	第2福祉課会、事務局会、全国盲重複障害者施設協議会役員会（リモート）
16	土	土曜学校荒平牧師リモート
17	日	
18	月	新任職員研修（3名）
19	火	運営会議、サービス調整会議、権利擁護・虐待防止委員会
20	水	
21	木	ふれあい職員会
22	金	
23	土	土曜学校（山口牧師 リモート）、障がい者支援施設職員会
24	日	
25	月	人事制度見直し検討会（リモート 日本経営）
26	火	記録員会
27	水	労働安全衛生委員会
28	木	麦わらぼうし内部監査
29	金	
30	土	土曜学校（浅野牧師 リモート）
31	日	

令和2年度 日誌 2月

日	曜	内 容
1	月	新任職員オリエンテーション
2	火	次年度事業計画読み合せ、強度行動障害養成研修（塩満 リモート）
3	水	
4	木	感染対策委員会、次年度事業計画会議、ケアマネージャー研修（宇都宮・講師 リモート～5） 会計実務書決算研修（久保 リモート）
5	金	麦わらぼうし職員会、災害対策委員会
6	土	土曜学校（金牧師 リモート）、つむぎ職員会
7	日	宮崎県独自の緊急事態宣言解除
8	月	エデンホーム三名職員会、会計実務者決算研修（櫻木 リモート） 利用者退所・入所に伴う引っ越し（富松・横山・工藤健太郎）
9	火	相談支援委員会、宮崎県スポーツ賞受賞式（平塚天清）、合併浄化槽の点検（産商） 経営会議、丸山國光さん逝去
10	水	内科診察、事故防止対策員会、第1福祉課会
11	木	
12	金	第2福祉課会、クリスタルカフェ、電気管理協会点検、害虫駆除（ダスキンひむか）
13	土	土曜学校（印牧師 リモート）、強度行動障害養成研修（蓑毛・福島 施設内リモート）
14	日	
15	月	次年度事業計画書読み合わせ、給食連絡会、面会開始
16	火	サービス調整会議、権利擁護虐待防止委員会、運営会議
17	水	
18	木	BCP研修（廣瀬 リモート）、エアコン修理
19	金	歯科往診（歯科福祉センター）、高齢者雇用給付金説明会（久保）
20	土	土曜学校（海老原牧師 リモート）、法人職員会（リモート）、障がい者支援施設職員会、 令和3年度新任職員説明会
21	日	
22	月	
23	火	天皇誕生日
24	水	人事制度見直し検討会（リモート 日本経営）、エデンホーム三名職員会 鍋会食、就職合同説明会、会計調査、
25	木	権利擁護研修（宇都宮 リモート）、青い鳥職員会
26	金	
27	土	土曜学校（山口牧師 リモート）、勤怠管理打合せ
28	日	

2020年度 日誌 3月

日	曜	内 容
1	月	地域福祉コーディネーター役員会
2	火	
3	水	施設建具工事、人事制度見直し検討会（リモート 日本経営）
4	木	新任職員振り返り研修
5	金	歯科往診（歯科福祉センター）、災害対策会議
6	土	土曜学校（金牧師 リモート）
7	日	
8	月	エレベーター定期点検（フジテック）
9	火	
10	水	第3回理事会
11	木	新任職員振り返り研修、就職説明会（リモート）、国富町自立支援協議会（宇都宮） 権利擁護研修
12	金	クリスタルカフェ（光森）
13	土	土曜学校（印牧師 リモート）、家族と職員の連携委員会、経営会議
14	日	
15	月	給食連絡会
16	火	人事制度見直し検討会（リモート 日本経営）、全国盲重複障害者施設協議会役員会（リモート）
17	水	入所判定会
18	木	新任職員振り返り研修、人事制度見直し説明会（日本経営）、権利擁護研修
19	金	法人職員会、災害対策会議
20	土	土曜学校（荒平牧師 録音）
21	日	
22	月	
23	火	人事制度見直し説明会（日本経営）
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	土曜学校（山口牧師 録音）
28	日	
29	月	
30	火	災害対策会議
31	水	

3. 本部報告

令和2年度理事会状況

開催年月日	出席者	審議事項
第1回 令和2年 6月8日	理事 6名 監事 2名 事務局 1名 合計 9名	第1号議案 2019年度事業報告・決算報告について 第2号議案 理事退任・選定及び業務執行体制について 第3号議案 令和2年度社会福祉充実計画について
第2回 令和2年 12月8日	理事 6名 監事 2名 事務局 1名 合計 9名	第1号議案 育児・介護休業等に関する規則の改定について 第2号議案 利用者預り金等に関する規程の改定について 第3号議案 経理規定、経理規定細則の改定について 第4号議案 評議員選任・解任委員の選定について その他報告 指導監査・実地指導について 法人役員改選について 他
第3回 令和3年 3月10日	理事 6名 監事 2名 事務局 1名 合計 9名	第1号議案 2次補正予算について 第2号議案 組織編制・重要な役割を担う職員の選出について 第3号議案 理事及び監事候補者の推薦について 第4号議案 評議員候補者の推薦について 第5号議案 定款施行細則変更について 第6号議案 2021（令和3）年度予算について 第7号議案 2021（令和3）年度事業計画について 第8号議案 就業規則変更について 第9号議案 給与規程変更について 第10号議案 職務文書規程変更について 第11号議案 役職者任免規程変更について 第12号議案 その他諸規定改定について 第13号議案 評議員会開催について その他報告 2021（令和3）年度人事 2021（令和3）年度入職予定者
第4回 令和3年 3月25日	理事 6名 監事 2名 事務局 1名 合計 9名	第1号議案 理事の退任に伴う理事長・執行理事の選定

令和2年度評議員選任・解任委員会状況

開催年月日	出席者	審議事項
第1回 令和3年 3月25日	理事 1名 委員 4名	第1号議案 評議員退任・選任について

令和2年度評議員会状況

開催年月日	出席者	審議事項
第1回 令和2年 6月24日	評議員 7名 監事 2名 理事 4名 事務局 1名 計 14名	第1号議案 2019年度事業報告・決算報告について 第2号議案 理事退任に伴う新理事選任について 第3号議案 令和2年度社会福祉充実計画について
第2回 令和3年 3月25日	評議員 7名 監事 2名 理事 3名 事務局 1名 計 13名	第1号議案 2021年度事業計画について 第2号議案 2021年度予算について 第3号議案 役員報酬及び費用に関する規程変更について 第4号議案 役員退任・選任について その他 2021年度社会福祉充実計画予定 評議員退任報告

令和2年度社会福祉充実計画実施状況

事業名	事業内容	結果
空調設備入替	障がい者支援施設エデンの園 空調入替工事④	コロナ感染予防の為 令和3年度に延期
LED設備入替	障がい者支援施設エデンの園 LED入替工事③	完了
軽トラック入替	障がい者支援施設エデンの園 軽トラック入替	入替の再評価の為 令和3年度に再度 必要性を協議する

令和2年度寄附金

区分	合計額	備考
法人	1,361,600円	
施設	100,000円	
ふれあい	50,000円	
つむぎ	1,000円	
計	1,512,600円	

4. 各種委員会報告

特定個人情報管理委員会・個人情報管理委員会

目的	エデンの園利用者、職員、職員の扶養家族の個人情報並びに特定個人情報（マイナンバー）を適正に管理し、漏洩を防ぐとともに、事業の運営の円滑化を図る。また、個人情報等が漏洩した場合や疑いがある場合（以下「事案」）には速やかに対処する。	
	活動内容	状況・結果
	「特定個人情報取り扱い規程」に基づき、利用者、職員、職員の扶養家族の個人情報の適正な取り扱いを確保する。	規程に基づき個人情報の取り扱いには万全を期した。また、規程に抵触することのないよう都度確認した。
	「特定個人情報取り扱い規程」に基づき、個人情報取り扱い状況を点検する。（特定個人情報番号取り扱い担当者）	特定個人番号取扱者1名を選任し、個人情報を保護した。
	個人情報に関し「事案」が発生した場合、委員会を開き、速やかに対処する。	「事案」発生はなかった。
今後の取り組み	新任職員研修他、階層別研修等で個人情報保護については周知していきたい。	

権利擁護・虐待防止委員会

目的	利用者の権利に関する内容の確認、検討と周知、並びに研修を行うことにより、利用者の権利を擁護する。また、「虐待防止に関する規程」に基づき虐待防止体制を築き、虐待のない福祉サービス事業所を目指す。	
	活動内容	状況・結果
	1. 各事業所での権利擁護研修	各事業所で毎月行う。各事業所の成果はびえんと15号
	2. 「支援の心得」の見直し、改訂	20年ぶりの大幅改訂、行動規範としての位置づけを行い、わかりやすいようにエピソードを挿入。ハンドブックとして全職員に配布
	3. 「びえんと」発行	13～15号を発行。反応はいまいち
	4. セルフチェック（全職員）	3年目、チェックを通して振り返る必要がある
	5. 宮崎県虐待防止研修の復命研修	4回行う。「意思決定支援」まで
今後の取り組み	①支援の心得を使った事業所での研修を ②セルフチェックを次年度も行うが内容を支援の心得に合わせる必要もあり ③「びえんと」を3回発行予定 ④虐待防止マネージャーの配置（各事業所のサービス管理お責任者・児童発達支援責任者）	

苦情解決委員会

目的	法人において、苦情相談窓口の設置とその内容の周知を図る。また苦情・相談の対応研修を開催するなどして、法人全体での意識の共有を行い、事案が発生した場合には、解決策を検討し対応する。	
	活動内容	状況・結果
	必要に応じ委員会の開催、職員への研修の開催	事案は各事業所や各課で内容、原因、改善について話し合っ て対応した。法人全体の委員会を持つことはなかった。
	利用者に向けた、苦情相談に関する掲示物の作成及び掲示、ハピネスの窓の開催	利用者向けにポスターを掲示した。「はびねすの窓」は新 型コロナウイルス感染予防のために行っていない。
今後の取り組み	利用者や家族が苦情を出すことに抵抗がないよう、さらに宣伝したい。また、苦情を通して支援の質をあげていくきっかけとしたい。	

労働安全衛生委員会

<p>目的</p>	<p>事業場における職員の健康保持増進と安全確保の観点から、環境整備や衛生活動を推進すると共に、心の健康状態を良好に保つための施策等について調査、又は審議を行う。また、安全衛生委員会運営規程 第1章 総則（責務）に基づき、委員は、労働安全衛生の水準向上のために必要と認める事項につき、委員会による議決を経て各事業所へ建議し、常日頃から環境改善の為、旗振り役となる。</p>	
	<p>活動内容</p>	<p>状況・結果</p>
<p>労働安全衛生年間計画の策定</p>	<p>労働安全衛生委員により各事業所へ配布した。</p>	
<p>公用車へのバックモニター設置</p>	<p>ノアやヴォクシーといった車格の大きな公用車に関し、バックモニターが未設置車両について、バックモニターを設置した。</p>	
<p>メンタルヘルス研修・接遇研修</p>	<p>外部講師をお招きして開催を検討した。メンタルヘルス研修については、産業カウンセラー待木美奈子氏をお招きし開催できたが、接遇研修については、新型コロナウイルス感染症の影響により直前で開催を見送った。</p>	
<p>労働安全衛生スローガンの策定</p>	<p>労働安全衛生への意識向上を目的に全職員からスローガンを募集し、決定した。また、平行して感染防止対策に関するスローガンと労働災害に関するスローガンを決定し、各事業所で唱和するなど取り組みを推進した。</p>	
<p>エデンの園・麦わらぼうし 喫煙所設置</p>	<p>安全衛生法の改正に伴い、入所施設と児童施設に対する受動喫煙防止対策の一環として、屋外へ喫煙所を設置した。</p>	
<p>新型コロナウイルス感染対策アンケートの実施</p>	<p>労働局より通知された新型コロナウイルス感染症に対する意識向上アンケートの実施に伴い、エデンの園独自の項目も盛り込みつつアンケートを配布・集計を行った。</p>	
<p>新型コロナウイルス感染防止対策</p>	<p>エデンの園による新型コロナウイルス感染防止対策のための警戒区分と判断基準を作成し各事業所へ配布した。また、医務保健課、感染対策委員会と連携し、実際の感染症まん延期に突入した際のシュミレーションを行った。</p>	
<p>ストレスチェックの実施</p>	<p>メンタルヘルス対策によりストレスチェックを行った。結果、20%の高ストレス者が確認され、例年より多い数値となった。また今年度からは、集団分析を行っており法人全体の傾向を確認した。</p>	
<p>今後の取り組み</p>	<p>これまでの新入職員の雇入時教育の内容が不十分だった為、令和3年度より雇入時教育の分野において専門性の高い職員に研修を担当させるなど内容を充実させる。 週に1回事業所の巡視活動を実施することが滞っていたため、他の委員会とも連携して巡視活動の強化とチェック体制の拡充を図る。</p>	

ハラスメント委員会

目的	法人において、ハラスメントを抑止するための対策を協議すると共に、研修等の開催により法人全体での意識の共有を図る。また事案が発生した場合には、原因の分析及び必要な措置を協議し、再発防止に努める。	
活動内容		状況・結果
ハラスメントに関する相談への対応、事実確認及び救済措置、研修、啓発活動、防止に関する		3件の事案があがる。委員で聞き取りを行い、改善した。
今後の取り組み	些細なことでも気になることは上長や委員に相談することを新任職員研修他、階層別研修等で個人情報保護については周知していきたい。	

研修委員会

目的	職員のスキルアップを図る為、研修の年間計画作成と運営を行い、サービスの質の向上に努める。また法人や事業所内での職場内研修を強化する事を目指し、計画と運営を行う。	
活動内容		状況・結果
(1) 研修委員会会議を開催 (毎月第2火曜日実施)		毎月開催。コロナ感染予防でリモートでの開催が主だった。職場内外の研修について話し合わせ、実施・改善が行えた。
(2) 職場内研修の年間計画を作成し実施運営を行う。		コロナ感染予防で延期中止になり当初の計画通りには進まなかったが、リモートでの開催など新しいことにもチャレンジし実施することが出来た。 令和2年度より階層別研修を実施。全職員が階層別に分かれてキャリアパス研修を受け、キャリアビジョンと人事評価の目標設定を行うことが出来た。
(3) 職場外研修の年間計画に基づいて運営を行う。		年度当初、予定されている研修年間計画を各事業所へ配布し周知した。しかし、コロナ感染予防で研修の中止が目立った。また、リモート研修の開催が増えてきたことで対応に追われる場面もあった。
(4) 新任研修プログラムに基づいた職員教育・育成を行う。		4月より新任職員研修を開催。年間計画を立て臨んだものの、コロナ感染予防により7月予定の専門研修を10月開催に延期した。また、3月の1年振り返り研修も2グループに分けて小規模での開催となった。
今後の取り組み	多くの職員が研修を受ける機会が増えてきた。今後、研修で学んだことをフィードバックできる方法を検討していけたらと考える。	

○その他

1. 研修状況

①階層別研修

内容	開催日	参加者数
新任職員研修 基礎編・専門編・振り返り	4月1～23日、10月5～15日、3月4・18日	13名
初任者研修	5月23日	22名
パート職員研修	5月28・29日	9名
中堅職員研修	6月17・18・19日、11月26・27日	33名
リーダー研修	9月24～25日、9月28～29日	15名
サビ管研修	3月17日	6名

②職場内研修

内容	開催日	参加者数
コミュニケーション研修	5月28日・6月4・18日・9月3日	84名
感染症研修	6月4日	46名
生活シート研修	9月14・15・16・17・18日	51名
事故防止委員会主催研修	11月5・12・19・26日	75名
権利擁護虐待防止研修	3月4・11・18・25日	77名

③職場外研修

研修名	開催日	氏名
記録技術研修（障がい児・者）	7月3日	生活支援員 児童指導員
相談支援従事者初任者研修	8月26・27日、 10月8日 11月11・12日	生活支援員
福祉職員のための医学基礎知識研修（大人）	9月15日	生活支援員
災害対応力強化研修	9月18日	統括施設長
職場研修担当者養成研修（人材育成指導担当者）	10月7・8日	理学療法士
職場研修担当者養成研修（前期・後期）	10月7・8日 12月17日	職業指導員
利用者主体支援研修（高齢、障がい）	10月22日	生活支援員
強度行動障害支援者養成研修（基礎）	10月24日 1月16日	生活支援員 世話人 相談支援専門員
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース3	10月27・28日	児童発達支援管理責任者
タイムマネジメント研修 中堅職員編	11月5日	目標工賃達成指導員 児童指導員 世話人
タイムマネジメント研修 チームリーダー編	11月6日	生活支援員 相談支援専門員
リスクマネジメント研修	11月13日	理学療法士
後輩に仕事を正しく教えるティーチング研修	11月19日	職業指導員
職場の雰囲気を考えるEQ感情マネジメント研修	11月26日	法人事務局長
職務を通じて後輩を育てるOJT研修（人材育成指導担当者）	11月30日	理学療法士
職務を通じて後輩を育てるOJT研修（前期・後期）	11月30日 12月22日	生活支援員 職業指導員
福祉の基礎知識習得研修	12月9日	生活支援員
宮崎県権利擁護虐待防止研修	12月18日	管理者 サービス管理責任者 世話人
メンタルヘルス研修 中堅職員編2	2月9日	サービス管理責任者
社会福祉法人監事研修	2月10日	法人監事
チームビルディングのためのリーダーシップ研修	2月16日	サービス管理責任者 生活支援員
強度行動障害支援者養成研修（実践）	2月22・23日	サービス管理責任者 生活支援員

防災委員会

目的	利用者及び職員の安全を確保するため、各事業所の防災係りと連携し、緊急時に速やかな対応が出来るよう体制を整備する。また、防災教育などを通して防災の為の事前対策を講じ、非常災害に対する適応力を高める。	
活動内容	状況・結果	
年間計画に基づき、防災計画の企画、実施	新型コロナウイルス感染症の関係で年間計画通りに出来なかったが、法定上の防災訓練は各事業所実施した。救命法研修を実施出来なかった。	
地震防災活動隊兼自衛消防隊組織及び任務分担表の作成	人事異動に伴い、防火管理者の変更、届出は行った。任務分担表等の作成の有無の確認を行っていなかった。	
備蓄品の管理	今年度は、備蓄食品（200食×1日分）、各事業所に発電機の整備を行った。各事業所で備蓄品（必要物品・個数など）の管理が十分でなかった。	
防災計画、防災マニュアルの見直し	年度初めに、計画・マニュアルの確認は行ったが、見直し、訂正は行わなかった。法人のBCP策定をうけ、各事業所の災害対策計画を作成した。	
管轄消防署への消防計画の届け出	防火管理者の選任（解任）の手続きは滞りなく行えた。消防計画の届け出は法定に準ずる訓練時に管轄消防署に提出を行った。	
今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・防災意識向上のために、防災委員が各事業所の防災訓練を見学し、アドバイスなどを行う。 ・防災備蓄品の整備を進める。 ・前年度防災訓練の反省をもとに、バリエーションにとんだ防止訓練を実施する。 	

○その他

●各事業所の防災訓練報告

	エデンの園	ふれあい	エデンホーム三名	エデンホーム森永	麦わらぼうし	つむぎ
4						
5	機器取扱	新任				
6						
7		避難消火 搬出救出	地震	総合防災訓練 (みらい)	夜間 火災	
8						
9	総合防災訓練					
10				総合防災訓練	火災	防災訓練 河川 氾濫
11					防災訓練	火災
12						
1	総合防災訓練				防災訓練	
2		避難消火 搬出救出	地震 火災		総合防災訓練	
3	防災訓練	夜間 想定		総合防災訓練 (みらい)	夜間 火災	防災訓練

感染対策/栄養管理委員会

<p>目的</p>	<p>【感染】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人において、様々な感染症を想定し、感染症発生前、発生時の対応、発生後の対策を協議し、法人全体で情報を共有する。また、地域、利用者家族への情報の発信を行う。 ・感染症に関する、啓発、研修などを行い、感染症予防に努める。 <p>【栄養管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エデンの園のモットーである、「おいしく、楽しく、安全に」を実現するために、食形態、食事内容等についての協議を行う。又、衛生管理等の研修を行う。
<p>活動内容</p>	<p>状況・結果</p>
<p>感染症マニュアルの更新</p>	<p>4月、5月で各事業所ごとのマニュアル読み合わせ、見直しを行い、現状に即したものに更新している。</p>
<p>職員・利用者家族に対する教育・啓発活動 職員への衛生教育等、研修を行う。</p>	<p>年間計画に従い、5月、11月と委員への研修を行い、各事業支所で伝達講習を行っている。6月には医務保健課と共同で、法人全職員へ向け研修を行っている。 利用者家族への啓発としては、家族会が無かった為、直接的な声掛けはできていないが、医務や各事業所責任者の協力を得ながら、文章での啓発を行っている。</p>
<p>感染症に対する情報収集と周知</p>	<p>外部での感染症研修の情報や、注目されるニュースを毎月の委員会で伝達していた。また、各事業所の感染情報を収集し会議録を法人内のチーフ以上に回覧することで周知を図っていた。</p>
<p>定例会（第1木曜）</p>	<p>毎月第1週の木曜日に会議を行い、コロナウイルス蔓延の影響で6、8月には文書による情報の共有のみとなったが、感染委員会としてこの時期こそ話し合いが必要と、他の月に関してはリモートを駆使しながら会議を行っている。</p>
<p>提供された食事内容と食形態について協議を行う。</p>	<p>事業所間の利用者様の行き来があることから、特に食形態について普通食以外の方の情報交換を行っている。 特に管理栄養士のいる入所施設の嚥下調整食の考え方、内容について学びを深めることができた。その後、入所からグループホームへ移られる利用者が出たが、共通の考え方が出来たため、スムーズに申し送りができています。</p>
<p>嗜好調査、検食等の結果の協議を行う。</p>	<p>嗜好調査は入所施設の職員にとっては、なじみのある言葉だが、他事業所では関わる事がなく、まずは意味を知るといった機会になった。PDCAサイクルに則った仕組みであることがわかり、特にグループホームにおいては、情報交換ができ、食事を作る職員にとって大きな安心感に繋がっている。</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>令和元年度は感染対策委員会、栄養管理委員会は別々の委員会であったが、共通に関わる部分があり、本年度より一つの委員会として発足された。感染症と食中毒、手洗いの研修、防災食・嗜好調査などの啓発と、全て実行できている。特にグループホームにおいては、会を通して食の情報交換ができ、食事を作る職員にとって大きな安心感に繋がったと思っている。</p> <p>どの事業所の委員も積極的に取り組み、特にコロナの部分では医務保健課課長がアドバイザーとして参加して下さり、医務保健課との協力体制が出来た。</p> <p>情報の共有・伝達や、清掃・消毒の周知、実践が行え、感染症の広がりがなかった事が、法人全職員で意識を持ち実践できた結果と感じている。</p> <p>次年度計画では、委員会として深みを出すべく、研修多く計画している。しかし、本年、コロナ対策で不完全な部分が多く、大きな課題を残してしまっており、コロナのマニュアル作成・定着を早急に進めていきたい。</p>

事故防止対策委員会

<p>目的</p>	<p>事故・アクシデント・ヒヤリハット報告を検証し、質の高い支援の提供と職員が安心して働ける体制を確立していく。</p>	
	<p>活動内容</p>	<p>状況・結果</p>
<p>(1) ヒヤリハット・アクシデント・事故報告の検証と改善、法人内へのフィードバックと指導</p>		<p><u>検証と改善</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・もともと構成員の人数が少ないうえに会議で全員が揃ったことがなく、毎月開催しても十分な検証が行えなかった。構成員の意識の問題ともいえる。 ・会議の時に構成員全員がヒヤリハット・アクシデントのファイルを持参し、実際に他事業所のヒヤリハット・アクシデントの具体例を知る必要がある。 ・各事業所から上がる問題点と課題に対して委員会としてもっと掘り下げた意見が出せると良いと考えるが、事前の読み込み、委員会後のフィードバック（各事業所へ持ち帰っての報告や法人職員会を利用しての働きかけ等）が足りなかった。 ・特に受診を要するような事故については、臨時、緊急招集をかけ再発防止と以後の対応について話し合う機会があっても良い。 <p><u>フィードバックと指導</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人内研修でヒヤリハットについての意識付けが行えたことはよかった。研修を作り上げるプロセスが構成員の意識も上げてくれた。 ・広報誌を発行し、研修のフォローを行った。 ・年度末の法人職員会議において、全事業所のアクシデントとヒヤリハットのまとめ報告を行った。
<p>(2) 事故防止対策が適切に行われているかの確認、各事業所に事故防止係の設置</p>		<p><u>事故防止対策の確認</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で事業所訪問が実施できず、各事業所職員の実態は分からなかった。コロナ禍における工夫が必要であった。 <p><u>事故防止係の設置</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成員のいない事業所には係を設置することができた。 ・係は毎月の会議資料にアクシデント等の件数と各事業所の問題点と課題を報告した。
<p>今後の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止に対する職員の意識向上を図る ・ヒヤリハット報告の件数を増やし、アクシデント件数を減らしていく。 ・構成員は会議に出席し、フィードバックを行う。 	

○その他

各事業所アクシデント・ヒヤリハット報告状況（P26～29）

①アクシデント報告

障がい者支援施設エデンの園

	転倒 転落	怪我	食事	薬	無断外出	利用者間 トラブル	金銭	物品紛失	破損 損傷	車両	送迎	その他	合計
4月	0	0	0	5	3	0	0	0	0	0	0	8	16
5月	7	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	4	15
6月	8	3	0	7	3	2	0	0	1	0	0	2	26
7月	4	1	2	6	1	0	0	0	0	0	0	3	17
8月	4	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	9
9月	3	0	5	2	0	0	0	0	0	0	1	2	13
10月	1	3	0	4	1	0	0	0	0	0	0	6	15
11月	7	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	4	16
12月	2	1	0	3	0	1	0	0	1	0	0	1	9
1月	2	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	8	14
2月	2	0	1	3	0	0	0	0	1	0	2	0	9
3月	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	4
合計	41	10	10	37	10	6	0	0	3	0	3	43	163

エデンの園ふれあい

	転倒 転落	怪我	食事	薬	無断外出	利用者間 トラブル	金銭	物品紛失	破損 損傷	車両	送迎	その他	合計
4月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5月	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
6月	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
7月	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8月	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
10月	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	4
11月	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
12月	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
1月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
2月	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3
3月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
合計	12	1	2	2	0	0	0	1	1	3	0	7	29

エデンホーム三名

	転倒 転落	怪我	食事	薬	無断外出	利用者間 トラブル	金銭	物品紛失	破損 損傷	車両	送迎	その他	合計
4月	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3
5月	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
6月	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	5
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
8月	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
11月	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3
12月	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
1月	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	4	0	6	7	0	1	2	1	1	0	2	24

つむぎ

	転倒 転落	怪我	食事	薬	無断外出	利用者間 トラブル	金銭	物品紛失	破損 損傷	車両	送迎	その他	合計
4月	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8月	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
10月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	1	2	0	0	0	1	1	0	3	9

放課後等デイサービス麦わらぼうし

	転倒 転落	怪我	食事	薬	無断外出	利用者間 トラブル	金銭	物品紛失	破損 損傷	車両	送迎	その他	合計
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
5月	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
6月	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	3
7月	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	4
8月	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
11月	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	4	1	0	3	1	0	0	2	1	7	4	23

エデンホーム森永

	転倒 転落	怪我	食事	薬	無断外出	利用者間 トラブル	金銭	物品紛失	破損 損傷	車両	送迎	その他	合計
4月	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	4	6
5月	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2	5
6月	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	4
7月	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	3
10月	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
2月	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
3月	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
合計	2	1	1	5	1	1	4	1	3	0	0	11	30

エデンの園相談支援事業所

	転倒 転落	怪我	食事	薬	無断外出	利用者間 トラブル	金銭	物品紛失	破損 損傷	車両	送迎	その他	合計
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	11	12

法人全体

	転倒 転落	怪我	食事	薬	無断外出	利用者間 トラブル	金銭	物品紛失	破損 損傷	車両	送迎	その他	合計
4月	1	1	0	6	5	0	0	0	3	0	2	12	30
5月	9	3	1	2	1	3	2	0	0	0	2	7	30
6月	10	3	0	10	6	3	0	2	1	0	1	9	45
7月	4	2	3	7	2	0	0	0	1	2	1	5	27
8月	6	2	0	4	2	0	0	0	0	0	0	5	19
9月	3	0	5	3	0	1	0	0	0	2	1	6	21
10月	3	5	1	4	2	0	2	1	1	2	0	7	28
11月	9	2	1	4	2	0	0	0	1	0	0	6	25
12月	3	2	0	4	1	1	0	0	2	0	0	2	15
1月	3	0	2	1	1	1	0	1	1	0	1	14	25
2月	3	0	1	5	0	0	1	0	1	0	2	3	16
3月	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	5	9
合計	51	20	13	45	22	9	4	4	10	6	8	73	290

②ヒヤリハット報告

障がい者支援施設エデンの園

	転倒・ 転落未遂	食事	薬	無断外出 未遂	金銭	物品	車両関係	利用者の 行動	送迎	施錠・鍵 関係	その他	合計
4月	0	0	5	0	0	0	0	2	0	0	9	16
5月	0	2	5	0	0	2	0	9	0	3	10	31
6月	7	0	6	0	0	0	0	11	0	0	15	39
7月	1	0	5	0	0	0	0	7	0	1	8	22
8月	1	0	4	0	0	0	0	0	0	1	1	7
9月	2	0	7	0	0	0	0	2	0	0	7	18
10月	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	22	29
11月	3	1	3	0	0	4	0	2	0	2	5	20
12月	4	2	7	0	0	1	0	0	0	0	3	17
1月	2	1	1	0	0	0	1	3	0	0	0	8
2月	3	3	4	0	0	1	0	2	0	2	3	18
3月	5	2	4	0	2	0	0	2	1	1	4	21
合計	28	11	51	0	2	8	1	47	1	10	87	246

エデンの園ふれあい

	転倒・ 転落未遂	食事	薬	無断外出 未遂	金銭	物品	車両関係	利用者の 行動	送迎	施錠・鍵 関係	その他	合計
4月	0	4	0	0	0	0	0	3	0	0	12	19
5月	2	4	1	0	0	0	0	1	1	0	5	14
6月	0	2	2	1	0	1	0	0	0	0	5	11
7月	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	8	12
8月	0	2	2	0	0	0	0	3	0	0	3	10
9月	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	6	9
10月	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	5
11月	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	5	8
12月	0	1	0	0	0	2	0	0	6	1	11	21
1月	2	0	0	0	0	3	0	8	2	0	13	28
2月	1	1	1	0	0	2	2	5	4	1	2	19
3月	1	0	0	0	0	1	0	3	6	0	9	20
合計	6	17	8	1	0	10	3	27	21	2	81	176

エデンホーム三名

	転倒・ 転落未遂	食事	薬	無断外出 未遂	金銭	物品	車両関係	利用者の 行動	送迎	施錠・鍵 関係	その他	合計
4月	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	2	5

つむぎ

	転倒・ 転落未遂	食事	薬	無断外出 未遂	金銭	物品	車両関係	利用者の 行動	送迎	施錠・鍵 関係	その他	合計
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	3
7月	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	3
8月	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	3
9月	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
12月	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	3
1月	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
3月	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
合計	2	0	2	3	0	0	1	4	3	0	3	18

放課後等デイサービス麦わらぼうし

	転倒・ 転落未遂	食事	薬	無断外出 未遂	金銭	物品	車両関係	利用者の 行動	送迎	施錠・鍵 関係	その他	合計
4月	0	0	0	2	0	0	0	1	0	5	7	15
5月	0	0	0	3	0	4	0	1	0	2	1	11
6月	0	0	0	1	0	1	0	0	1	2	2	7
7月	0	0	0	1	0	5	0	0	1	5	0	12
8月	0	0	0	1	0	2	0	0	1	6	3	13
9月	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	3
10月	0	0	0	0	0	4	1	0	0	1	6	12
11月	0	0	0	0	0	4	2	0	1	2	1	10
12月	0	0	0	0	0	3	0	0	0	6	2	11
1月	0	0	0	0	0	2	0	1	0	2	4	9
2月	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	4	8
3月	0	0	0	0	1	3	1	0	0	1	6	12
合計	0	0	0	9	2	29	6	3	5	32	37	123

エデンホーム森永

	転倒・ 転落未遂	食事	薬	無断外出 未遂	金銭	物品	車両関係	利用者の 行動	送迎	施錠・鍵 関係	その他	合計
4月	0	0	2	0	0	2	1	3	0	0	2	10
5月	0	0	2	0	0	4	0	5	0	1	2	14
6月	1	0	5	0	0	4	0	1	1	0	3	15
7月	0	0	1	0	0	5	0	0	0	0	0	6
8月	2	0	3	0	0	1	0	4	0	0	2	12
9月	0	0	1	0	0	4	0	3	0	0	4	12
10月	1	2	3	0	0	4	0	1	0	0	1	12
11月	0	0	2	0	0	6	0	2	0	0	3	13
12月	0	1	2	0	0	4	0	0	0	0	7	14
1月	2	1	2	0	0	3	1	3	0	0	7	19
2月	0	0	6	0	0	2	0	3	0	1	0	12
3月	0	0	2	0	0	1	1	2	0	0	0	6
合計	6	4	31	0	0	40	2	27	1	2	31	145

エデンの園相談支援事業所

	転倒・ 転落未遂	食事	薬	無断外出 未遂	金銭	物品	車両関係	利用者の 行動	送迎	施錠・鍵 関係	その他	合計
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0		0	1	0	4	5

法人全体

	転倒・ 転落未遂	食事	薬	無断外出 未遂	金銭	物品	車両関係	利用者の 行動	送迎	施錠・鍵 関係	その他	合計
4月	0	4	7	2	0	2	1	11	0	5	30	62
5月	2	6	8	3	0	10	0	16	1	6	18	70
6月	8	2	13	2	0	6	1	14	2	2	27	77
7月	1	3	7	3	0	10	0	7	3	6	17	57
8月	3	2	10	1	0	3	0	8	2	7	9	45
9月	2	0	9	1	0	5	2	5	1	0	18	43
10月	1	2	3	0	0	8	1	9	2	1	31	58
11月	4	1	5	0	0	14	2	7	1	4	15	53
12月	5	4	9	0	0	10	0	1	7	7	23	66
1月	6	2	7	0	3	5	2	7	7	2	20	61
2月	42	32	92	13	4	87	13	111	32	46	245	717
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	74	58	170	25	7	160	22	196	58	86	453	1309

記録委員会

目的	法人職員が記録に対する意識やスキルの促進を目指す。また、法人での記録に関する様式や文言等の統一を図り、記録短縮や多様性を目指したシステムの有効活用を行うと共に、法人全体（各事業所）での業務の効率（スリム）化・コスト削減の提案等に繋げる。	
	活動内容	状況・結果
	(1) 記録委員会会議の開催 (毎月第3火曜日10:30より開催)	委員がなかなか集まらず、少人数での開催がほとんどだった。コロナ感染予防でリモートで実施した。
	(2) 新システムの普及や指導	ICT担当者が4月から不在となり、委員会として普及や指導を行うことが困難となった。ICTに関しては、ICT対策チームが発足され、対策チームが普及・指導等に行った。
	(3) 語録集の有効活用	昨年度完成した語録集を新任職員研修で活用し、全事業所へデータ配布した。しかし、なかなか浸透しておらず、有効活用できていなかった。
	(4) 各事業所問題点の把握	記録委員会で挙げたことを現場へ浸透させることが難しかった。サービス管理責任者等を通して伝達を図ったが、それもうまくいかなかった。
今後の取り組み	サービス管理責任者等が中心とした委員構成をすることで、各事業所への記録に関する周知や対策を行っていく事が望ましい。	

美化委員会

目的	安全で快適な生活環境や職場環境を提供する為に、各事業所における美化や環境整備の強化を図る。	
	活動内容	状況・結果
	環境美化年間スケジュールの立案及び実施 ・エアコン、換気扇清掃（年2回） ・害虫駆除（年2回） ・台風対策（年1～2回）	年間スケジュールの立案を4月に行い、各事業所に周知を実施（下記スケジュール参照）。各事業所とも、年間スケジュールに合わせて実施しており、エアコンや換気扇の故障はなく、また害虫被害報告も軽減出来た。台風対策によって雨漏れ等もなかった。年末大掃除では、各事業所の環境整備係が音頭をとって、それぞれの事業所で完遂。予定通り委員会活動を行う事が出来た。
	清掃用具の管理	4月に各事業所の環境整備係に、掃除道具の点検を依頼した。点検にて気付いた道具の故障や欠品情報を基に、各事業所で購入伺い（事業所）や家族への同意（GH）をとり、発注・納品し、道具の充実を行った。揃えた道具を基本として、1年間各事業所で管理してもらう事で、清掃をスムーズに行う事が出来た。
	環境美化意識啓発	今期の委員会は、実働職員数が少なかった為、「計画は委員会、実施は各事業所の環境整備係」のスタンスで動いた。その為、委員会から各事業所へ「依頼（啓発）」する事が多くなり、必然と「なぜ環境美化活動をしなければならないのか」を伝える機会が増えた。その事で、職員の環境美化への意識が少しずつ高まった。
	環境美化報告書の作成	1年間の振り返りや反省を行い、各事業所で出た情報を美化委員会で収集し、統一された様式にて活動報告書を作成した。予定通り3月中には全事業所の報告書が完成し、R2年度美化員会ファイルにて保存した。
今後の取り組み	<p>発足して2年目ではあるが、ある程度確立された年間スケジュールとなった為、この予定表を基盤として活動を増やしていけば、基本がブレる事なく進める事が可能と考える為、今後も年間スケジュールの確立に努めていきたい。</p> <p>美化は、労働安全衛生委員会や防災委員会の枝葉とも考えられる為、委員数が確保できない場合は、他の委員会と合併させる事を強く希望する。</p>	

医療的ケア推進委員会

目的	法人における医療的ケアについて、5年後、10年後を想定し、対策を協議する。	
	活動内容	状況・結果
	医療機器の管理、マニュアルの作成、見直し(喀痰吸引、褥瘡、看取り、医療連携体制)	医務保健課の中で医療的ケアについて学ぶ。
	全職員対象とした研修会、有資格者に対する研修会の開催	1名の看取りを行ったが、その際、実地研修を行う。職員の体制を整えて行うことができた。
今後の取り組み	感染防止のために喀痰吸引研修が行えなかった。将来に向けニーズはあると考えるが、職員配置や医療との連携など研究が必要と思われる。	

ガバナンス強化法改正対策委員会

目的	コンプライアンス(関係法・法人倫理・就業規則・各ルール等)を達成する為に、事業所の生産性向上を目的とした整備体制の検討や、サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者間の合意形成による連携や情報の共有化を図りガバナンスの強化を図る事を目的とする。	
	活動内容	状況・結果
	ガバナンス強化/法改正対策委員会の開催(奇数月及必要時～法改正情報時等)	奇数月の開催予定であったが、年間4回の開催になってしまった。
	社会福祉法人エデンの園に於けるサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の役割や業務内容の確認と情報共有の為に研修会の開催。	研修会を2回開催し、役割の確認、現在の報酬算定の考え方の伝達は実施することが出来た。
	認定区分調査時に於ける効果的な対応の在り方と区分。	認定調査時の情報共有等を行う予定であったができなかった。
	権利擁護・虐待防止委員会と連携したサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者向けに特化した研修会の開催。	次年度に向け各事業所のサービス管理責任者・児童発達支援管理者を虐待防止マネージャーとすることで周知し、虐待防止委員会との連携を深めることを次年度目標とした。
	法改正に向けた取り組みと情報の共有と法人内への周知。	報酬改定の情報については基本情報のみ発信。各事業所で算定等の基本情報を確認してもらった。
今後の取り組み	2020年度は、組織体制として第1福祉課、第2福祉課それぞれで事業所管理を行っていくため、ガバナンスの強化により強固な組織づくりを目指したが結果として、それぞれの職制に合わせた役割や責任が自覚されるような取り組みとはならなかった。次年度は、組織とは、あるいは役割に期待されている業務・能力は何かを明確にする研修会を実施し、浸透させていく。	

5. 第1福祉課

主任 林 裕一

1. 重点目標

項目	評価点	評価
<p>1. 人として当たり前の生活、自分らしい生活を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活シートを整備し、生活の基本である衣・食・住に対し、さらなる改善を図ります。 	3・ <u>2</u> ・1	<p>障がい者支援施設エデンの園においては、生活シート作成は終了しました。しかし、作成した生活シートの精査が済んでおらず、より良いものにしていくためには定期的なアセスメント、シートの訂正が次年度への課題となりました。衣・住に関しては、意識付けの年度となりました。季節に応じた衣類や季節感を味わえる空間づくりは出来ました。食に関しては、食事形態のみならず、補助具や姿勢についても皆で共有し、美味しく・安心・安全な食事の提供が出来ました。</p> <p>エデンホーム三名においては、生活シートの作成は済んでおらず、令和2年度はアセスメントのみの実施となりました。食については、自前の食事（ホームみらい）を開始して1年が過ぎ、利用者のリクエストにこたえることが出来ました。しかし、メニューに偏りがあった為、管理栄養士にアドバイスをもらい、メニューに取り入れ、美味しい食事と共に、健康に配慮した食事の意識も高まりました。</p>
<p>2. 人材（財）育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的をもって研修に参加し、振り返りを行うことで支援技術向上を図ります。 	3・ <u>2</u> ・1	<p>新型コロナ感染症禍において、法人内研修は実施方法を検討しながら実施出来ました。各事業所職員の勤務を調整し研修に参加することが出来ました。</p> <p>外部研修参加者においては、各事業所の職員会やミーティングを活用し復命研修を実施しました。学びを支援に活かすことや加算算定に繋がり、評価出来ました。半面、研修での気づきや学びを業務や事業所に還元できていない場面も見られました。今後は、人事考課制度とリンクさせながら個々の向上に繋がりたいと考えます。</p>
<p>3. 権利擁護の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3者の前でも胸を張って行える支援を目指します。 意思決定を通して、利用者が自己肯定感を味わえる居場所を作ります。 	3・ <u>2</u> ・1	<p>各事業所の職員会において、毎月権利擁護研修を実施しました。内容は事例検討会（担当利用者の困りごと）、研修の復命報告、法人の行動規範（利用者支援の心得）から実際の支援を考える等、担当者がテーマを決め行いました。</p> <p>意思決定支援については、意思を反映した個別支援計画には至っていませんでした。次年度は、各事業所の虐待防止マネージャー（サービス管理責任者）が中心となり、意思決定支援に向けた取り組みを進めていきたいと考えます。</p> <p>障がい者支援施設エデンの園、エデンホーム三名において、虐待の疑いにて、宮崎県と管轄の自治体へ通報を行いました。</p>

<p>4. 特徴ある事業所づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業所で特徴あるサービス、活動を作り、魅力ある事業所を目指します。 	<p>3・2・1</p>	<p>特徴ある事業所づくりには至っていませんでした。エデンの園の生活介護サービスは、エリアごとの特色や活動、ふれあいは、個別プログラム、運動機能の低下予防、音楽活動、季節に応じた行事と事業所の目指す方向性が見えてきました。利用者の居場所（自己肯定感を味わえる場所）づくりに向けては、取り組みを評価される機会が増えるとうよいと考えます。</p>
<p>5. 地域とのつながりを強くします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 買い物等外出機会や積極的なボランティアの受け入れを行い、地域との交流を図るとともに地域行事等に参加して相互理解を深めていきます。 三名地区の防災拠点の準備を進めます。 	<p>3・2・1</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症禍において、外出やボランティアの受け入れ、地域との交流が制限され地域とのつながりを深めることは出来ませんでした。 防災拠点においては、法人事業所の防災備蓄等の整備を優先しました。数か年計画で備蓄食の整備を進める中で初年度として、200食を整備しました。
<p>6. 感染症予防に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修、啓発等を通して、感染症に対する意識付けを図ります。 	<p>3・2・1</p>	<p>新型コロナ感染症禍において、第1福祉課各事業所研修はもとより、啓発にも力を注ぎました。結果、新型コロナウイルスに限らず、他の感染症の発症もありませんでした。感染症予防に対する意識が高まった1年となりました。</p>
<p>7. 社会生活支援を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携をとりながら、地域生活の可能性を探ります。 地域活動、体験の場を設け、地域社会との結びつきを強くします。 	<p>3・2・1</p>	<p>新型コロナウイルス感染症禍により、関係機関等との会議も中止となりました。地域活動も制限を設けることとなり、地域社会との結びつきを強くすることは出来ませんでした。その中で、地域資源を活用した、ふれあいのウオーキングでは、地域住民に言葉をかけていただく場面もあり、地域を意識した活動となりました。</p>

3=実施できた・2=実施したが不十分・1=実施できなかった

6. 障害者支援施設エデンの園

主任 東屋 理香 サービス管理責任者 光森 勇人

1. サービス実績

○生活介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23
延べ人数	1261	1369	1255	1304	1346	1244	1316	1269	1316	1293	1136	1313
1日平均	57.31	59.52	57.04	56.69	58.26	56.54	57.21	57.68	57.21	56.21	56.8	57.08

○施設入所支援

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
延べ人数	1790	1884	1792	1859	1890	1778	1846	1792	1859	1878	1688	1829
1日平均	59.66	60.77	59.73	59.96	60.96	59.26	59.54	59.73	59.96	60.58	60.28	59.0

2. 重点目標

項目	評価点	評価
<p>(1) 生活の基本である衣食住に対し、更なる改善を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣～TPOに応じた、快適で清潔な服装に配慮します。 ・食～個々にあった食事支援を行い、健康な身体づくりを目指します。 ・住～居室の清掃を定期的に行い、清潔な環境にします。 ・エリア分け支援により、個別ケアの充実を図ります。 ・全利用者の生活シートを作成します。 	3・ 2 ・1	<p>・快適な「衣」として、機能的、心理的、社会的に応じた服装であるかを重視しました。施設入所、生活介護、就労、外出と背景が変化中、職員間で「引き継ぎ・気づき」を挙げ、身なりをきちんと整え、その方の存在を表現するという職員の意識に繋がってきました。季節に応じた衣類の交換は実施出来ていましたが、衣装棚や、不要な衣類の片づけが不十分であり、今後の取り組みとします。</p> <p>・「食」については、食事形態のみならず、食事をする際の補助具、姿勢、嗜好品の要因も環境の一つとして考え、支援を行いました。誤嚥、窒息、肺炎の高リスク者も、多職種で情報共有、観察を行う事で、安全な食事提供が出来ました。定期的にカンファレンスを実施し、体調に応じて栄養補助食品の導入を行い評価をする事で、大きな体調変動も招くこと無く、健康な身体づくりに繋げることが出来ました。</p> <p>・「住」については、各エリア共有スペースの清掃時間を設け、実施する事で昨年と比べ「臭いがなくなった」等、清潔な環境に配慮する事が出来ました。各エリアの志向を取り入れた季節の装飾は、利用者様と職員と一緒に取り組み、四季を感じる場の提供が出来ました。また、施設の特性上、害虫も多く、皮膚トラブルに繋がる事例もありました。今後は、防虫対策を定期的に行い、清潔かつ、快適な環境づくりに取り組みたいと考えます。</p> <p>・エリア分けを行い、一人ひとりの利用者の暮らしに焦点を当てることで、その方の生活背景、その方なりを知り、理解していく事に繋がりました。それは、班ミーティングの開催や支援内容の検討が、随時エリア内や職員間で行わ</p>

		<p>れていた事から、評価としました。利用者様を知り、更に個人に合わせた支援を行いたい、その為にはどの様にすれば良いかの意識が反映されていました。また、生活シートの作成は完了していますが、シートの精査は未実施であるため、今後の取り組みとし、個別ケアの充実に繋げていきます。</p>
<p>(2) 人材(財)育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の障がい特性や状態像に応じた適切できめ細かな支援を行えるよう、研修、エリア毎のミーティング等通じて、専門性を磨きます。 ・施設内研修の参加、職員の自己研鑽に配慮します。 	3・ 2 ・1	<ul style="list-style-type: none"> ・より良い利用者様の個別ケアを図るため、カンファレンスやミーティングを通し、多職種連携が図れました。互いの職種を尊重し、意見を吸収する事で専門性やスキルを身につけるだけではなく、円滑なコミュニケーションが行える場面ともなりました。 ・研修ではコロナ禍でありましたが、一部を除いては実施しました。研修のみならず、働く一職員という意識を個人が持ち、主体性、自立性をもった意識の向上、新人事考課制度、面談を活用しながら、今後、少しずつ事業所の士気があがっていくと良いと考えます。
<p>(3) 権利擁護を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三者の前でも、胸を張って行える支援を目指します。 ・利用者の意思決定及び人権を尊重し、虐待のない支援を行います。 ・利用者の充実した生活(個別で楽しみをもった)を目指します。 	3・ 2 ・1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の入所職員会で、利用者に関する支援内容の検討、全体共有が必要な事例について情報共有を行いました。研修を通し、他者の意見を聞くことで新たな気づきが生まれ、個人の固執した考えから多様性のある支援方法を見出すことが出来ました。但し、取り組み後の評価が出来ていなかった為、実施、振り返りの定着を図る事を今後の課題としていきます。また、今後は事業所で権利擁護研修の目標や計画を立てる等、行動計画に基づいて取り組んでいきたいと思ひます。
<p>(4) 感染症予防に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修、啓発などを通して、感染症に対する意識付けを行います。 	3 ・2・1	<p>新型コロナウイルス感染症の出現により入所施設でも生活様式の変化(制限等)がありましたが、感染症対策の手段を一つ一つ踏んでいく事で、感染症を予防する事が出来ました。タイムリーな情報を周知する事で、年間を通して、感染症の報告もなく、職員の感染症に対する意識向上から、目標達成に繋がったと評価します。</p> <p>基本的な感染症予防策を、職員全体が実施出来る様に、今後も継続して、啓発していきます。</p>

3=実施できた・2=実施したが不十分・1=実施できなかった

3. 活動報告

①花の街

支援目標	一人ひとりの障害の特性・加齢による心身の状態の変化に気付けるよう、日々の観察を小まめに行い、健康の維持を図ると共に心身の残存機能を活かす支援を行います。	
支援項目	評価点	評価
<p>1. 衣類について</p> <p>①担当職員を中心に月 1 回は各利用者の衣類を確認し必要があれば購入するなどの対応を行います。</p> <p>②各利用者の衣類の状況を職員同士で共有し、花の街棟全体で協力し季節に合わせた衣類の提供を行います。</p> <p>③5月・9月・10月には各担当職員を中心に衣替えを行います。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>衣替えについては、各担当支援員を中心に行いました。サイズアウトしたものや古くなったものなどは、気が付いた都度担当支援員に報告し、本人さんの許可をとって処分しました。新しい衣類に関しては、新型コロナウイルス感染症予防のため一緒に買いに行くことはできませんでしたが、代行で購入した品物を確認していただきました。結果として、季節に合わせて衣類の提供ができました。</p>
<p>2. 食事について</p> <p>①個々の障がい特性・性格等を考慮した食事環境を花の街全体で整備します。</p> <p>②個々の身体的機能・特徴を考慮した食事の提供を多職種と連携し提供します。</p> <p>③食事摂取状況を随時確認し、何か変化がある時にはすぐに対応します。</p> <p>④管理栄養士と連携を取り、一人ひとりの状態に合わせ食事形態等を随時見直し、美味しく楽しい時間となるようサポートします。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>食事形態については管理栄養士と相談し、本人さんの状態に合わせて調整し提供しました。食器についても色々な形のものを試し、一番食べやすいと思われるものを選び使用しました。食事時の姿勢についても検討し、個々に合わせた座面の高さ、背もたれを調整し、良姿勢を保持して食べていただけるよう支援しました。むせ等ある場合は報告し、皆で見守りを行いました。結果として、誤嚥等なく食事をとっていただくことができました。</p>
<p>3. 住環境について</p> <p>①個々の障がい特性、身体能力に応じた居住環境を整備し快適で安心感のある居住環境を所属棟職員、医務職員と連携し整備します。</p> <p>②毎週 1 回シーツ交換日に各居室の清掃・電動ベッドの消毒を行い感染防止に努めます。</p> <p>③棟内の清掃・消毒・破損個所など棟内職員全員で確認し対処し利用者に不利益が起らないようにします。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>室内、棟内の清掃や消毒は随時行い清潔を保ちました。各居室・ホールにレースカーテンを付けていただき、更衣時等の外からの目隠し及び採光、西日除けを確保することができました。また、加湿器や空気清浄機を用い快適な湿度と気温を保つよう配慮しました。結果としてインフルエンザ等の感染症等も発生せず、安心して過ごしていただくことができました。</p>
<p>4. 口腔ケアについて</p> <p>①毎食後の口腔ケアの時間を大切にします。</p> <p>②個々にあった口腔ケア用品を準備し、口腔内の健康を図ります。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>毎食後に口腔ケアを実施しました。他エリアの職員が支援についてもわかりやすいように、個々の口腔ケア手順書を作成し掲示しました。結果として、往診等で大きな指摘を受けることなく状態を維持することができました。</p>
<p>5. 健康面について</p> <p>①毎朝検温を行い、体調不良早期発見に努めます。</p> <p>②日中を通して観察を行い、必要に応じてバイタルチェックを行います。また、体調不良や怪我等を発見した場合には、看護師に報告、他職員に情報共有を行います。</p> <p>③入浴時に身体の観察を行い、体調の変化の早期発見に繋がります。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>朝の血圧測定、一日 2 回の検温、排泄の確認、更衣時に打撲等の有無の確認を行いました。また、随時変調がないか観察しました。変調等がみられた場合はすぐに看護師に報告し連携して通院等の対応を行いました。毎日の尿量測定が必要な方もいらっしゃいましたが、エリア外の職員も含めて協力し早期の対応ができました。</p>

<p>6. 日中プログラム 一人ひとりの能力に応じたプログラムを提供し、意欲的に取り組んでいただけるようサポートします。また、個別プログラムが必要な利用者様に対しては個別のサポートを行います。 ※個別支援計画書・リハビリ計画書・栄養ケア計画に沿った生活支援を行います。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>リハビリテーションのプログラムでは、運動（ウォーキング）に力を入れ取り組み、年度初めのころは館内1周を歩き切らずに息を切らしていた利用者様が、一年経過すると息切れすることなく笑顔で歩かれていました。また、塗り絵を楽しまれる方、ラジオを聞いてゆっくりされる方等一人ひとりの能力に応じて過ごしていただきました。</p>
<p>7. その他 ①職員資質向上 ・定期的に、班会議を開き情報の共有・個人レベルでの支援方法の検討を行います。 ・自身の社会経験と福祉専門知識・技術を結び付けより良い生活支援を模索します。 ・多職種と常に連携し話し合いながら生活支援を展開していきます。 ②家族との連携 ・利用者の状況報告を家族会の日、電話連絡等を活用し家族に伝えます。 ・ご家族の会話を通す中で、何か要望があった場合には一人で考えるのではなく班全体若しくは上長と相談しご家族要望に応えます。 ・計画書の内容は必ずご家族に分かりやすい様に説明しご理解と同意を得た上で実施します。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>エリア全員参加でのミーティングは3回に留まりましたが、常に情報共有を意識し、2名以上いるときは利用者様やエリアの状況を伝えあうよう意識しました。利用者様が高齢で疾患のある方も多いため、看護師や理学療法士、管理栄養士と密に連絡を取り合い支援方法について話し合いました。エリア外の支援員にも周知し、統一した支援ができるよう配慮しました。新型コロナウイルス感染症予防の観点で、家族会中止が相次ぎましたが、電話で状況や様子をお伝えし、利用者様の活動の様子を写真に撮り郵送させていただきました。計画書等も電話にて説明し、了解をいただいたうえで実施することができました。</p>

②ゆり

支援目標	1人・1人の障がい特性を考慮した上で衣・食・住の充実を図り、落ち着いた生活と楽しみのある生活が出来るようにします。	
支援項目	評価点	評価
<p>1. 衣類について ①担当職員を中心に月1回は利用者の衣類を確認し必要があれば購入するなどの対応を行います。 ②各利用者の衣類の状況を職員同士で共有し、シヨコラ班全体で協力し季節に合わせた衣類の提供を行います。 ③5月・9月・10月には各担当職員を中心に衣替えを行います。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>毎月、チェックと必要に応じて衣類購入を行う事で衣類が不足することはありませんでした。5月、9月、10月に衣替えを行う事で季節に合った衣類を提供することができました。衣類調整、気温等による不快感を訴える事が出来ない事が多い為、職員が直接確認するようにし、支援を適宜行うようにしました。</p>
<p>2. 食事について ①個々人の障がい特性・性格等を考慮した食事環境をシヨコラ班全体で整備します。 ②個々人の身体的機能・特徴を考慮した食事の提供を多職種と連携し提供します。 ③食事摂取状況を随時確認し、何か変化がある時には直ぐに対応します。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>食事は、月ホールでとっていただきました。他利用者の食事が気になる方は食事の時間をずらし、安心できる環境の中で食べていただきました。利用者によっては嚥下調整食やパンをご飯に変更など安全に食事が楽しめるように努めました。また、毎食、食事摂取状況を記録していき利用者の様子観察に努めました。</p>

<p>3. 住環境について</p> <p>①個々人の障がい特性・性格等を考慮した居住環境を各担当職員を中心にショコラ班全体で取り組み整備を行います。</p> <p>②毎日、居住環境内の清掃・消毒を行います。</p> <p>③各利用者の居室内・寝具等の破損・汚染等をショコラ班全体で確認し対処し利用者に不利益がおこらないようにします。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>居室に自立課題エリアを設けました。食前食後であったり、余暇課題等にも使用し本人が落ち着いて、集中して作業エリアがあることで安心や集中に繋がりました。</p> <p>清掃消毒は、利用者の刺激とならないように活動中など他の事の取り組んでいる時に行いました。利用者によっては職員と一緒に取り組み、一緒に住環境を整えました。</p>
<p>4. 口腔ケアについて</p> <p>①毎食後の口腔ケアの時間を大切にします。</p> <p>②定期的に（3か月に1度を目安に）は、口腔ケア後にレッドチェックを行い、磨けていない場所の確認と認識を徹底します。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>毎日の口腔ケアでは個々人にあった口腔用品を使用し、口腔状態の維持、改善に繋がりました。レッドチェックの使用は新しい日課の中での生活に慣れて頂くことを最優先とした為、出来ませんでした。</p>
<p>5. 健康面について</p> <p>①健康チェック時に検温等身体の観察を行います。</p> <p>②入浴時に身体の観察を行います。</p> <p>③手洗い・消毒の徹底を行います。</p> <p>④職員は通勤・退勤時の服装と支援に当たる際の服装が一緒にならないように上着を替える等の工夫を行います。</p> <p>⑤入退院の際には担当職員に任せるのではなくショコラ班全体で対応します。また、退院後は最低14日間経過するまで経過観察を重点的に行います。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>毎日の健康チェック時に検温や入浴時の身体の観察を行い、利用者の体調不調の早期発見に繋がりました。毎食前には必ず手洗いをする事で予防に努めました。利用者によってはルーティンになっている方もおられ、自発的に手洗い消毒を行っていました。</p> <p>職員の衣類は意識的に行えており、感染症の持ち込み、予防に努めることが出来ました。</p> <p>骨折の為、入院がありました。その際には看護師と連携し対応しました。</p>
<p>6. 日中プログラム</p> <p>・個別支援計画書・リハビリ計画書・栄養ケア計画に沿った生活支援を行います。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>日中活動でのワークを行う事で精神安定が図れ、月一回以上のドライブで楽しみに繋げることが出来ました。余暇支援では個々にあったもの(余暇課題、おやつ、テレビ等)を提供する事で楽しみを持ち、落ち着いた生活を送る事が出来ました。(骨折後)術後経過をみていた利用者も、リハビリ計画にのっとり行う事で筋力低下を防ぐことが出来ました。</p>
<p>7. その他</p> <p>①職員資質向上</p> <p>・月1回、ショコラ班会議を開き情報の共有・個人レベルでの支援方法の検討を行います。</p> <p>・自分の考えに固執せず、他職員の意見も取り入れて生活支援を展開します。</p> <p>②家族との連携</p> <p>・利用者の状況報告を家族会の日、電話連絡等を活用し家族に伝えます。</p> <p>・ご家族の会話を通す中で、何か要望があった場合には一人で考えるのではなく班全体若しくは上長と相談しご家族の要望に応えます。</p> <p>・計画書の内容は必ずご家族に分かりやすい様に説明しご理解と同意を得た上で実施します。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>常に情報共有を意識し、2名以上いるときは利用者様やエリアの状況を伝えあうよう意識しました。精神薬等を服用している利用者が多い為、看護師からの観点や意見を聞き、取り入れていきました。エリア外の職員にも周知し、統一した支援ができるよう簡易的なマニュアルを随時作成していき、配慮しました。新型コロナウイルス感染症予防で、家族会中止が続きましたが、電話で状況や様子をお伝えし、利用者の様子をまとめた動画を作成し、DVDでお渡しすると大変喜ばれていました。計画書等も電話にて説明し、了解をいただいたうえで実施することができました。</p>

③れんげ

支援目標	『衣・食・住』を基本に考え、生活環境を整える。また、理学療法士を交え、リハビリテーションを促進し、身体的機能の維持、向上を目指します。		
支援項目	評価点	評価	
1. 衣類について ①季節に応じた衣類を準備し、身なりに気を配ります。 ②衣替えの時期には持ち物を見直し、適宜購入・処分を検討します。 ・日課中に、入浴かごの入れ替えや衣替えの時間を確保します。	3・ 2 ・1	TPOと季節や気温等に応じた衣類を着て頂きました。入浴かごの整理や破損した衣類は処分を促進し、新しい衣類へと入れ替えが進みました。	
2. 食事について ①食堂にて食事を行います。 ②管理栄養士と連携を取り、一人ひとりの状態に合わせ食事形態等を随時見直し、美味しく楽しい時間となるようサポートします。	3 ・2・1	食堂にて食事を摂って頂きました。環境の配慮を行う為、テーブルのレイアウトや座席の変更行いました。食器の形態も随時変更しました。また、利用者一人ひとりに合った食事形態にて提供し、楽しく、安全な食事が出来ました。	
3. 住環境について ①毎日の整理整頓、居室清掃を行います。 ・衣類等は出したままにせず、必ず衣類ダンス等に収納します。 ②視覚障がい者に配慮し、危険な箇所がないか随時確認し対応します。 ・動線の確保、コーナークッション等の設置。 ③花ホールに座敷を設置し、フラットな場所でゆったりとした時間を過ごせるよう配慮します。	3 ・2・1	クリーンタイムとして13:30~13:45の15分間を利用し、居室の整理整頓や共用部分の清掃を行いました。衣類の収納や、視覚障がい者の為の環境を整備しました。花ホールに畳エリアを新設し、利用者に寛げる空間を提供することが出来ました。毎月変わる掲示物で、季節を感じて頂きました。	
4. 口腔ケアについて ①毎食後の口腔ケアの時間を大切にします。 ②定期的に(3か月に1度を目安に)は、口腔ケア後にレッドチェックを行い、磨けていない場所の確認と認識を徹底します。	3・ 2 ・1	毎食後に歯磨きを中心とした口腔ケアを実施しました。レッドチェックについては6ヶ月毎の実施となりました。口腔内のトラブルはありませんでした。	
5. 健康面について ①毎朝検温を行い、体調不良の早期発見に努めます。 ②日中を通して観察を行い、必要に応じてバイタルチェックを行います。また、体調不良や怪我等を発見した場合には、看護師に報告、他職員に情報共有を行います。	3 ・2・1	毎日、朝と昼の2回の検温を実施しました。顔色等の様子に変化が見られた時は、看護師やエリア職員を中心に情報共有を行いました。大きく体調を崩す利用者はいませんでした。	
6. 日中プログラム 一人ひとりの能力に応じたプログラムを提供し、意欲的に取り組んでいただけるようサポートします。また、個別プログラムが必要な利用者様に対しては個別のサポートを行います。	3 ・2・1	個人に合った目標をアセスメントし、プログラムに反映させました。達成を支援員が賞賛したり、複数のプログラムから選択して頂いたりする事で、利用者の意欲に繋がりました。	

④こすもす

支援目標	『衣・食・住』を基本に考え、生活環境を整える。スキンケアにも力を入れ、感染症ゼロと共に、皮膚トラブルもゼロを目指す。また、生活する中で出来ることを自分でやるを掲げ、意欲とQOL向上を目指す。	
支援項目	評価点	評価
<p>1. 衣類について</p> <p>①季節に応じた衣類を準備し、身なりに気を配ります。</p> <p>②衣替えの時期には持ち物を見直し、適宜購入・処分を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日課中に、入浴かごの入れ替えや衣替えの時間を確保します。 	<p>3・2・1</p>	<p>TPOと季節や気温等に応じた衣類を着て頂きました。入浴かごの整理や破損した衣類は処分を促進し、新しい衣類へと入れ替えが進みました。</p>
<p>2. 食事について</p> <p>①食堂にて食事を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日によっては、2階のホールでの食事やテラスを使った屋外での食事も提供予定。 <p>②管理栄養士と連携を取り、一人ひとりの状態に合わせ食事形態等を随時見直し、美味しく楽しい時間となるようサポートします。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>食堂にて食事を実施しました。エリア分割が進展し、年度途中よりこすもすエリアにて食事を摂って頂きました。少人数のゆったりとした時間を提供出来ました。天気の良い日は屋外で食事をして頂き、開放的な雰囲気を感じて頂きました。</p>
<p>3. 住環境について</p> <p>①毎日の整理整頓、居室清掃を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣類等出したままにせず、必ず衣類ダンス等に収納します。 <p>②視覚障がい者に配慮し、危険な箇所がないか随時確認し対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動線の確保、コーナークッション等の設置。 <p>③2階ホールで落ち着ける環境を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビの設置や日課表の設置、『緑』をテーマに居住棟のレイアウトを行っていく予定。 	<p>3・2・1</p>	<p>天気の良い日は班活動で本人さんに布団を干してもらいました。13:30~13:45の15分間をクリーンタイムとし、居室の整理整頓や共用部分の清掃を実施しました。視覚障害のある利用者と動線確認やエレベーターを使う訓練を実施しました。2階ホールに大型テレビを設置しました。ホワイトボードを設置し、日課を掲示し、落ち着ける空間を提供しました。毎月変わる掲示物で、季節を感じて頂きました。</p>
<p>4. 口腔ケアについて</p> <p>①毎食後の口腔ケアの時間を大切にします。</p> <p>②定期的に(3か月に1度を目安に)は、口腔ケア後にレッドチェックを行い、磨けていない場所の確認と認識を徹底します。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>毎食後に歯磨きを中心とした口腔ケアを実施しました。レッドチェックについては6ヶ月毎の実施となりました。口腔内のトラブルはありませんでした。</p>
<p>5. 健康面について</p> <p>①毎朝検温を行い、体調不良早期発見に努めます。</p> <p>②日中を通して観察を行い、必要に応じてバイタルチェックを行います。また、体調不良や怪我等を発見した場合には、看護師に報告、他職員に情報共有を行います。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>毎日、朝と昼の2回の検温を実施しました。顔色等の様子に変化が見られた時は、看護師やエリア職員を中心に情報共有を行いました。大きく体調を崩される利用者はいませんでした。</p>
<p>6. 主な日中プログラム</p> <p>一人ひとりの能力に応じたプログラムを提供し、意欲的に取り組んでいただけるようサポートします。また、個別プログラムが必要な利用者様に対しては個別のサポートを行います。</p> <p>※個別支援計画書・リハビリ計画書・栄養ケア計画に沿った生活支援を行います。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>個人に合った目標をアセスメントし、プログラムに反映させました。クリスマスリース作り等の創作活動や、畑作業を実施しました。目標達成を支援員が賞賛し、複数のプログラムから選択して頂く事で、利用者の意欲的に取り組んで頂きました。</p>

⑤すみれ

支援目標	「衣・食・住」を基本に生活環境を整え、健康的な生活を送っていただきます。		
支援項目	評価点	評 価	
<p>1. 衣類について</p> <p>①季節に応じた衣類を準備し、身なりに気を配ります。</p> <p>②衣替えの時期には持ち物を見直し、適宜購入・処分を検討します。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>①季節に合わせた衣類の提供ができていました。障がい特性から本人さん自身の管理が難しい方は、職員の方で管理し、必要に応じて衣類の提供をしました。</p> <p>②衣替えの時期には、破れている衣類などは、本人さんに確認をしていただき、処分をしました。また、購入に関しては、コロナ感染対策で職員と一緒に買い物に行くことが難しい状況であった為、代行で本人さんの好まれる衣類の特徴を聞き、購入へ繋げました。</p>	
<p>2. 食事について</p> <p>①管理栄養士と連携を取り、一人ひとりの状態に合わせ食形態等を随時見直し、おいしく楽しい時間となるようサポートします。</p> <p>②食事前に口腔体操を行い、嚥下能力を維持します。</p> <p>③食後は食事エリアの清掃を行い、清潔を保ちます。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>①ひとりひとりが「今日もご飯美味しかったね」と言えるように、食べ易さ、身体面の確認等を栄養士と相談しながら食事の時間を提供できました。</p> <p>②毎回実施はできませんでしたが、時間がある場合は、大好きな歌などを食べ始める前に歌って頂き、喉を使うことで嚥下能力の向上に繋げました。</p> <p>③食後は、テーブル、床の片付けを行いました。清掃が行き届いていないこともあった為、今後計画的に取り入れていく課題となりました。</p>	
<p>3. 住環境について</p> <p>①毎日の整理整頓、居室清掃を行います。</p> <p>②視覚障がい者に配慮し、危険な箇所がないか随時確認し対応します。</p> <p>③楽しく過ごしていただけるよう季節ごとの装飾を工夫します。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>①毎週火曜日をクリーンデイと設定し、居室、活動空間等の清掃に取り組みました。</p> <p>②壁だけではなく、テーブルの角などにも配慮し、保護するクッション等を貼り、対応しました。</p> <p>③行事（夏祭り、お正月等）の際は、楽しくその時間を過ごして頂く為に、雰囲気づくりに努め工夫しました。</p>	
<p>4. 口腔ケアについて</p> <p>①毎食後の口腔ケアの時間を大切にします。</p> <p>②月に2回は日中の時間を利用して、しっかりとケアを行います。</p> <p>また、支援員のケア技術と知識の向上に努めます。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>①口腔ケア用品をしっかりと揃えた上で、口腔ケアに毎食臨みました。</p> <p>②月の2回の口腔ケアはなかなか実施に至りませんでした。今後も継続してケア技術の向上をしていきたいと思えます。</p>	
<p>5. 健康面について</p> <p>①毎朝検温を行い、体調不良の早期発見に努めます。</p> <p>②日中を通して観察を行い、必要に応じてバイタル測定等を行います。</p> <p>③体調不良、傷や打撲などを発見したらすぐに周知・報告し、情報共有を行います。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>①毎日、午前午後の2回検温を行いました。</p> <p>②日中を通して、観察を行い、利用者によっては、必要に応じて、期間を決めたバイタル測定を行いました。</p> <p>③入浴時に、全身の観察を行い、傷や打撲など発見したら、申し送りを行い、情報共有を行いました。結果、その都度、対応する事で、健康に過ごす事が出来ました</p>	

<p>6. 主な日中プログラム 一人ひとりの能力に応じたプログラムを提供し、意欲的に取り組んでいただけるようサポートします。また、個別プログラムが必要な利用者様に対しては個別のサポートを行います。 ※個別支援計画書・リハビリ計画書・栄養ケア計画に沿った生活支援を行います。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>個別支援計画書、リハビリ計画に沿った支援を行いました。活動時は、身体能力を維持する為に、ウォーキングを行い、館内や園庭を歩きました。免疫力を高める為の園庭歩行では、日光を浴び、外の風にあたりながら、とても気持ちよさそうに運動に参加できました。行事に関しては、屋台やゲームを楽しんで頂きました。他には、スムーズ作りやカラオケなど楽しんで頂きました。利用者の方の希望で一番多くあった買物については、コロナ感染対策もあり、必要に応じて職員が代行して買物を行う事で、利用者の希望に沿った購入に繋がりました。</p>
<p>7. その他 ①職員資質向上 ・定期的に、班会議を開き情報の共有・個人レベルでの支援方法の検討を行います。 ・自分の考えに固執せず、他職員の意見も取り入れて生活支援を展開します。 ②家族との連携 ・利用者の状況報告を家族会の日、電話連絡等を活用し家族に伝えます。 ・ご家族の会話を通す中で、何か要望があった場合には一人で考えるのではなく班全体若しくは上長と相談しご家族の要望に応えます。 ・計画書の内容は必ずご家族に分かりやすい様に説明しご理解と同意を得た上で実施します。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>①班会議は、定期的の実施することは出来ませんでした。緊急性のある場合のみ、エリア職員に集まってお話し、支援の周知、徹底に努めました。また、エリア専用ノートを活用し情報の共有を図りました。結果、職員とのコミュニケーションを図ることで、普段から、相談、報告、連絡を心掛け、情報の共有を図ることが出来ました。 ②家族との連携では、電話での対応をしました。コロナ感染防止の為、帰省や面会が出来ない時があり、不安になる利用者もおられ、心のケアにも努めました。帰省の代わりになる物（コーヒー、お菓子等）を定期的に提供しました。 個別支援計画では、直接電話で報告や要望等を確認し、説明を行いました。結果、家族会が実施されない関係で、直接電話でご家族と話す機会が多くなり、コミュニケーションを図ることが出来ました</p>

⑥ばら

支援目標	「衣・食・住」を基本に生活環境を整え、健康的な生活を送っていただきます。	
支援項目	評価点	評価
<p>1. 衣類について ①季節に応じた衣類を準備し、身なりに気を配ります。 ②衣替えの時期には持ち物を見直し、適宜購入・処分を検討します。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>服装に関しては、TPO に応じた服装を心がけました。また、季節に応じた服装に配慮しました。また、季節の変わり目に衣替えを行い、不要な衣類は処分し、適宜に衣類の購入も行いました。結果、季節に応じた衣類を準備する事が出来ました。</p>
<p>2. 食事について 管理栄養士と連携を取り、一人ひとりの状態に合わせて食形態等を随時見直し、おいしく楽しい時間となるようサポートします。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>利用者一人ひとりに合わせた食事形態を提供しました。結果、食事を詰まらせたり、食べづらいと言う事も無く、美味しく食事を摂る事が出来ました。</p>

<p>3. 住環境について</p> <p>①毎日の整理整頓、居室清掃を行います。</p> <p>②視覚障がい者に配慮し、危険な箇所がないか随時確認し対応します。</p> <p>③楽しく過ごしていただけるよう季節ごとの装飾を工夫します。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>毎週火曜日をクリーンディとし、利用者と一緒に清掃を行いました。利用者も意識するようになり、楽しみながら清掃を行う事が出来ました。また視覚障がい者に対し、ぶつか危険箇所にクッションカバーを設置しました。季節ごとに風ホールの装飾を行いました。利用者も楽しみにされ、嬉しそうに眺めていました。結果、環境を整える事で、快適に過ごす事が出来ました。</p>
<p>4. 口腔ケアについて</p> <p>①毎食後の口腔ケアの時間を大切にします。</p> <p>②月に2回は日中の時間を利用して、しっかりとケアを行います。</p> <p>また、支援員のケア技術と知識の向上に努めます。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>毎食後、歯磨きを行いました。その際、利用者に必要な口腔ケアを行いました。歯科往診の際、口腔ケアのポイントなど学びながら利用者支援を行いました。月2回の実施は、入浴等の関係で、実施する事が出来ませんでした。歯磨きの際に丁寧に磨くように心掛けました。</p>
<p>5. 健康面について</p> <p>①毎朝検温を行い、体調不良の早期発見に努めます。</p> <p>②日中を通して観察を行い、必要に応じてバイタル測定等を行います。</p> <p>③体調不良、傷や打撲などを発見したらすぐに周知・報告し、情報共有を行います。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>毎日、午前午後の2回検温を行いました。また、日中を通して、観察を行い、利用者によっては、必要に応じて、期間を決めたバイタル測定を行いました。また、入浴時には、全身の観察を行い、傷や打撲など発見したら、申し送りを行い、情報共有を行いました。結果、その都度、対応する事で、健康に過ごす事が出来ました。</p>
<p>6. 主な日中プログラム</p> <p>一人ひとりの能力に応じたプログラムを提供し、意欲的に取り組んでいただけるようサポートします。また、個別プログラムが必要な利用者様に対しては個別のサポートを行います。</p> <p>※個別支援計画書・リハビリ計画書・栄養ケア計画に沿った生活支援を行います。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>主に、活動時に、ウォーキングを行い、館内や園庭を歩きました。園庭では、日光を浴び、外の風にあたりながら、健康的に運動を行い、館内では音楽を流し、楽しみながら運動が出来る様に配慮しました。また、ドライブを実施し、気分転換を図りました。特にドライブは、毎回楽しみされ笑顔が多く見られました。行事として、祭りを実施し、屋台やゲームを楽しんで頂きました。他には、スミージー作りやカラオケなど楽しんで頂きました。結果、コロナ感染防止の為、買物が殆ど出来ませんでした。職員が代行して買物を行う事で、利用者が困らないように心掛けました。</p>
<p>7. その他</p> <p>①職員資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に、班会議を開き情報の共有・個人レベルでの支援方法の検討を行います。 ・自分の考えに固執せず、他職員の意見も取り入れて生活支援を展開します。 <p>②家族との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況報告を家族会の日、電話連絡等を活用し家族に伝えます。 ・ご家族の会話を通す中で、何か要望があった場合には一人で考えるのではなく班全体若しくは上長と相談しご家族の要望に応えます。 ・計画書の内容は必ずご家族に分かりやすい様に説明しご理解と同意を得た上で実施します。 	<p>3・2・1</p>	<p>班会議では、定期的には実施することは出来ませんでした。その都度、必要に応じて実施し、連絡ノート等で、情報の共有を図りました。結果、職員とのコミュニケーションを図ることで、普段から、相談、報告、連絡を心掛け、情報の共有を図ることが出来ました。家族との連携では、必要に応じて電話で対応しました。今回は、コロナ感染防止の為、帰省や面会が出来ない時があり、不安手になる利用者もおられ、心のケアにも努めました。また、家族会の実施も難しい状況でしたので、直接、電話で利用者の状況を報告し、書類と一緒に、利用者の写真をコメントを載せて提供しました。個別支援計画では、直接電話で報告や要望等を確認し、説明を行いました。結果、家族会が実施されない関係で、直接電話でご家族と話す機会が多くなり、コミュニケーションを図ることが出来ました。</p>

4. 権利擁護研修

毎月の職員会で研修を実施しました。主として利用者様の情報共有、支援内容の検討、3月の県への報告事案に対し、自分達の支援を振り返り、利用者支援とは、チームで働く事とは等、自分がその立場だったらという原点に戻る機会ともなりました。また、支援内容の検討は、利用者様のその方らしさという尊厳の視点であるか、職員主体となっていないか留意し、価値観も違う為、個人ではなく、職員間で考えていく事を重視し、研修を行いました。互いの考えを受け入れ、多様な考え方も出来たのではないかと考えます。

今後は、意思決定支援に対する取り組みにも重点を置き、計画性のある研修を行って、質の良い支援に繋がっていきたいと考えます。

○権利擁護研修日程

月	内容	担当者
4	権利擁護とは	蛭原翼
5	入所施設スローガン周知	蛭原翼
6	利用者Yさんの支援、優先順位をどこに基準を合わせるか	東屋理香
7	記録と権利擁護	小野淳司
8	虐待防止セルフチェック	蛭原翼
9	虐待防止セルフチェック	東屋理香
10	各エリアでの取り組み	東屋理香
11	どうしたら、エデンの園で生活したいと思えるか	東屋理香
12	利用者の情報共有	東屋理香
1		
2	看取りを通して	朝倉達太
3	異性介助 県への報告事案を受けて	東屋理香

5. 行事報告

行事名	日程	参加者数
クリスマス会	令和2年12月24日(木)	施設入所利用者
イースター・召天者記念会	令和3年4月17日(土)	施設入所利用者

※季節に応じた催しものは、各エリアで計画・実施

6. 事故報告

○事故報告（宮崎県報告事案）

月	内容	件数
6月	身体的虐待疑い 職員による通報	1
7月	転倒後、頭部縫合の措置が必要となった	1
9月	骨折	1

7. 苦情解決

申出人	内 容	対 応
事業所 A	事業所 A より該当利用者の衣類に関する申し送りを以前から受けていたものの、改善されおらず整容面や歩行面で支障が出る形となっていた。事業所 A は衣類の早急な対応を希望された。	早急に衣類の整理を行い、該当利用者にあつた衣類の準備を行った。
家族 A	該当利用者の家族 A より腰部に内出血ができていたにも関わらず通院を行っていない対応について不信を抱かれた。家族 A は通院を行い、レントゲン検査と通院後の報告を希望された。	当該利用者からの痛みの訴えはなく、歩行状態も変化が見られなかった為、通院の必要性は低く、経過観察とした。

8. ボランティア

実績なし

9. 実習生

No	期 間	学校名・施設名	人 数
1	10月12日、13日、14日	宮崎国際大学	1

10. 指導監査・実地指導報告

※令和2年度に実地指導を受けた事業所は報告。

	実地指導結果	改善事項
1	重要事項説明書と運営規定の内容を一致させる事。運営規定を改正した時には、変更届を提出する事。	指摘事項に対して、変更届出を行いました。
2	アセスメント、担当者会議を実施した時には記録を残す事。	指導監査後の個別支援計画の作成においては必ずアセスメントを実施し、状態変化を確認した情報を基に会議を実施しています。
3	モニタリングにおいて、個別支援計画の実施状況を把握し、個別支援計画の見直し、検討を行う事。	監査後のモニタリングに際し、サービス内容の実施状況の確認、達成状況の確認、継続、中止の判断、内容変更の必要性を記録に残す事としています。
4	利用者の預り金等の管理についての見直し	令和3年4月1日より利用者預り金等に関する規程を全面改訂し、管理責任者等の内部牽制を確立しています。
5	預り金の入出金に当たっては、利用者の意思を確認できる書類を提出、一連の事務処理が適正に行われるように複数の職員で確認する事。	利用者預り金等に関する規定で様式を作成し、入出金の利用者確認を行うように変更、残金確認等に複数の職員で関わるようにしています。
6	勤務表に従業者の職種、勤務時間、常勤・非常勤の別を記載し、勤務体制が確保されるよう。	監査後、勤務表に、職種、勤務時間等を記載し、勤務体制が明確になるようにしました。
7	やむを得ず身体拘束等を行う場合には、あらかじめ個別支援計画に位置付ける事。 なお、個別支援計画に記載がない身体拘束を緊急やむを得ず行った場合には、記録をする事。	指導監査時に、不備を指摘された、利用者に関しては説明と同意を得ています。個別支援計画に記載のない利用者に関してはその都度、具体的内容の記載と記録、同意を一緒にファイルしています。

11. 医務

○看護師

①看護部門

新たな医務保健課の体制の中、看護師数も昨年より増員し、更に利用者様の個別ケアに寄り添う事ができたのではないかと振り返ります。医務保健課会、看護ミーティングを行い、多面的な視点でケアの方向性や情報を共有することが、質の良いケアの充実に繋がったと考えます。今後は、生活シートの作成に、専門職としての視点も盛り込み、利用者様の暮らしを健康面からも支えるサポートをしていきます。

②感染対策

コロナ感染症という未知の感染症に翻弄されましたが、感染対策委員会とも連携を図り、感染症発生時のシュミレーション等も実施することが出来ました。感染症の標準予防策を職員に浸透していく為には、日々の積み重ねではありましたが、感染症が事業所内で発生していない事は、職員の意識改革にも繋がっていたのではないかと考えます。職員自らが、利用者様の健康を支える支援者として、感染対策の危機意識を持てるように、今後も継続して啓発していきます。

③利用者通院状況

月	内科		外科		精神科	整形 外科	皮膚 科	眼 科	耳 鼻 科	歯 科	婦 人 科	通 院 合 計	健 診 (通)	健 診 (内)	健 診 合 計	給 付 費 外	田中外科	井上病院	入 院 時 支 援	歯科福祉
	田 中 外 科	そ の 他	田 中 外 科	そ の 他	精 神 科 ・ 神 経 科												内 科 診 察	精 神 科 診 察		口 腔 ケ ア
4	5	4				1	4					14				3	61		3	
5	7	11				7	5		2	2	1	35	1		1	1	4			5
6	4	12			1	6	3		1	19		46				3	1	10		4
7	7	7	2		1	2	2		1	4		26				4				6
8	9	3		3	1	5	3	1	2	3	1	31				4				
9	10	8		2		5	2	2		5		34				8				
10	8	5			1	4		9	1	5	1	34				6	61	18		6
11	30	4				3	3	4	1	5		50				10	23	9		
12	3	2		2		2	2	2	3	2		18				5				
1	3	4				2						9	22		22	5				61
2	1	3				1	1					6	16		16	4	3			10
3	2	8				5	2	2		1	1	21	10		10	9		11		11
計	89	71	2	7	4	43	27	20	11	46	4	324	49	0	49	62	153	48	3	103

④利用者入院状況

性別	病名	医療機関	入院期間
男性	大腿骨頸部骨折	潤和会記念病院	令和2年4月10日～4月28日
男性	細菌感染(眼球摘出)	宮医大(眼科)	令和2年10月6日～10月12日

⑤利用者救急搬送状況

性別	病名	医療機関	搬送日
男性	てんかん発作	けいめい病院	令和2年3月29日
男性	低ナトリウム血症	潤和会記念病院	令和2年1月12日

○理学療法士

①リハ加算者 追加

今年度は、リハビリ加算者を追加しませんでした。まだ加算をとっていない利用者の中で、リハビリの必要性がある利用者がいなかった事が主な要因です。必要性がある利用者出次第、加算者を追加していきます。

②リハビリテーション加算

稼働月	合計日数	算定人数	単位	単位	実績
4月	1012	51	20	48	¥208560
5月	1078	51	20	48	¥222040
6月	974	51	20	48	¥200960
7月	1026	51	20	48	¥211640
8月	1074	51	20	48	¥221240
9月	969	51	20	48	¥199960
10月	1017	51	20	48	¥209840
11月	976	51	20	48	¥201360
12月	1022	51	20	48	¥210840
1月	1021	51	20	48	¥210640
2月	867	50	20	48	¥180600
3月	993	50	20	48	¥205040
合計					¥2482720

今年度はトータルで¥2482720の加算収益となりました。

③リハビリ機器の導入

昨年度で断念していたリハビリ機器の導入は、優先順位の高かった「プラットフォーム」「プーリー」「エスカルゴ」「連結マット」を購入しました。現在は高齢者棟の利用者を中心に器機を使用し、健康維持に繋がっています。

④運動機能評価の継続

昨年度から開始した、運動機能（歩行能力、バランス、敏捷性、筋力など）評価を今年度も継続してデータを集めています。R2年度は評価の分析を行う予定でしたが、まだデータ数が少ないので、極端に変化があった利用者しか分析を行いカンファに結び付けていません。継続してデータを集めていきます。

⑤骨や歯の健康維持促進

R3年度から実行すべく、日光を浴びての運動促進、R3年度から実行すべく、計画立案し、各責任者や支援員への落とし込みを行いました。

○管理栄養士

①給食状況

今年度は、新型コロナウイルス感染予防という未曾有の事態に直面し、メンタルなどのソフト面と、消毒、清潔保持な祖環境整備のハード面双方から、支援を行いました。外泊など制限のある中で、食事の面から少しでも楽しみに繋がられるよう、四季折々の食材はもちろんの事、人気の高いデザートをメニューに取り入れる等の工夫を行い、日々の生活に潤いが出るよう心掛けました。

又、高齢化に伴い、より安全でおいしい食事を提供できるよう食材の柔らかさや飲み込みやすさなどに配慮しました。これからも、ご利用者お一人おひとりのニーズに対応し、ご利用者様の笑顔に繋がられる食事を目指します。

②給食実施総食数内訳

単位(食)

区分 月別	利用者					療養食	ショート ステイ	生活介護	月別合計
	常食	嚥下調整食							
		4	3	2-2	2-1				
4月	1,782	1,429	270	360	90	1,294	90	87	5,402
5月	1,877	1,552	372	372	93	1,257	97	83	5,703
6月	1,716	1,473	360	348	90	1,125	96	106	5,314
7月	1,836	1,485	372	364	90	1,228	86	79	5,540
8月	1,893	1,562	372	372	93	1,260	93	56	5,701
9月	1,738	1,438	360	340	90	1,142	95	95	5,298
10月	1,778	1,481	372	358	93	1,185	111	108	5,486
11月	1,922	1,359	354	360	90	1,063	92	102	5,342
12月	2,051	1,384	369	372	93	1,155	70	88	5,582
1月	2,048	1,427	368	333	93	1,156	92	62	5,579
2月	1,849	1,264	332	252	84	1,045	84	94	5,004
3月	2,035	1,370	367	279	93	1,148	52	133	5,477
区別合計	22,525	17,224	4,268	4,110	1,092	14,058	1,058	1,093	65,428

③給食栄養状況

区分 月別	熱量	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミン				食物繊維	食塩
	(Kcal)	(g)	(g)	(mg)	(mg)	A (μ g)	B1 (mg)	B2 (mg)	C (mg)	(g)	(g)
4月	1,818	66.5	40.0	569	9.8	1,318	1.06	0.84	100	16.5	7.5
5月	1,818	66.3	42.0	555	10.6	1,267	1.07	0.79	95	16.1	7.5
6月	1,804	65.8	41.2	554	8.5	1,283	0.97	0.81	101	16.2	7.5
7月	1,800	65.9	38.9	565	10.0	1,676	1.01	0.84	104	16.5	7.5
8月	1,826	66.7	41.8	547	10.0	896	1.09	0.77	97	15.9	7.5
9月	1,823	67.3	40.8	568	8.4	941	1.00	0.78	98	16.4	6.4
10月	1,795	66.5	40.3	550	10.0	1,672	1.05	0.85	99	15.8	7.4
11月	1,810	67.5	41.2	535	9.7	900	1.09	0.76	98	15.7	7.4
12月	1,831	67.2	41.6	567	9.5	1,615	1.19	0.86	101	17.1	7.6
1月	1,834	67.1	40.1	676	12.6	1,316	1.01	0.79	99	19.5	7.4
2月	1,836	68.2	41.4	697	12.6	932	1.08	0.82	160	19.4	7.4
3月	1,814	67.1	40.1	680	10.9	1,276	0.96	0.81	103	19.5	7.5
月平均	1,817	66.8	40.8	589	10.2	1,258	1.0	0.8	105	17.1	7.4
栄養所要量	1,800	67	40	675	10.5	775	1.1	1.3	100	19.0	7

7. エデンの園ショートステイ

主任 東屋 理香 サービス管理責任者 光森 勇人

1. サービス実績

・短期入所

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
延べ人数	2	3	3	5	1	5	4	3	1	1	1	4
利用合計	32	36	45	42	31	45	50	42	31	31	28	22

今年度は、コロナ感染症対策として利用の制限が都度あり、前年度より利用数が下がりました。新規利用者は1名でした。急な利用や長期間の利用に対応することができ、ご家族や介護者のニーズにも対応することができたと思われまます。

8. エデンの園ふれあい

チーフ 四位 俊一 サービス管理責任者 谷口 博孝

1. サービス実績

○生活介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23
延べ人数	435	464	433	433	387	422	419	394	433	450	397	455
1日平均	19.8	20.2	19.7	18.8	16.8	19.2	18.2	17.9	18.8	19.6	19.9	19.8

2. 重点目標

項目	評価点	評価
利用者のストレングスに着目し、一人ひとりに寄り添った支援を行います。	3・ 2 ・1	<p>個別支援計画を基に定期的開催するケア会議において利用者のストレングスに着目しながら個別プログラム、個別運動プログラムの作成、見直しを行いました。活動の幅が広がり「パステル」を使った新しい作品作りが出来るようになった利用者も増えてきました。</p> <p>また、利用者の高齢化に伴い認知症の症状が見られる方、今までと異なる行動が見られる方が徐々に増えてきており、特に排せつ動作や更衣動作等に介助が増えてきました。その方々の再アセスメントを実施し「出来ることは何か」「難しいことは何か」「どうすれば出来るのか」等を朝礼終礼やふれあいミーティング、職員会で考え、話し合ったことで統一した支援、一人ひとりに寄り添った支援を進めることが出来ました。</p> <p>ただし、認知症の症状等が徐々に出てきた利用者が中心であり、その他の利用者においても質の高い再アセスメントが出来るよう知識技術の向上に努める必要があると考えます。</p>
職員一人一人の専門性を高め、利用者支援に繋がります	3 ・2・1	<p>法人の取り組みの一環でもある「法人内研修」へ業務調整を行いながら積極的に参加することが出来ました。また、ふれあい内においても視覚障がい者支援の向上を図るために「同行援護従事者研修会伝達」を4回、熱中症対策や感染症対策の研修、利用者支援や活動の方法等の見直しを職員会やふれあいミーティングを活用し、職員のみならずパート職員に対しても一緒に学び、周知を図ったことで、専門性も高まり支援の質の向上に繋がってきました。</p> <p>ただし、今後も継続して実施していく必要は強く感じました。</p>

<p>地域交流に積極的に参加すると共に社会生活支援を推進します。</p>	<p>3・2・1</p>	<p>外出や夏祭り、デイサービス等でのミニコンサート、地域で行われるレクリエーション等への参加は計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により計画の見直しやイベント等の中止が発生し積極的な地域交流を行うことが困難でした。しかしその状況下の中、利用者さんと一緒に地域の清掃（ゴミ拾い）を行い、屋外活動時に使用する公衆トイレの消毒の実施、ウォーキング中は地域住民との挨拶等を積極的に行ったことで、徐々に地域住民からも声かけしてもらう機会が増えました。また、ふれあい周辺の草刈りを7月と10月に実施しました。</p> <p>来年度も新型コロナウイルス感染症による行動自粛、行動制限はあると考えられる状況にありますが、その時出来ることはしっかりと取り組み、積極的に地域交流を図り、社会生活支援を進めていきます。</p>
--------------------------------------	--	--

3=実施できた・2=実施したが不十分・1=実施できなかった

3. 活動報告

<p>昨年度課題として上がっていた個別活動の目的の不明確さ、利用者個々の特性（個性）に合ったプログラムの整備が出来ていなかったことについて、利用者毎に個別プログラムを作成し、目的や方法を明確にしました。また、ケア会議時には個別プログラムの見直しも行い、その時必要なプログラムへの変更を行うこと出来、活動の幅も徐々に広げることが出来ました。</p> <p>視覚障がい者支援において、「同行援護従事者養成研修の伝達」等を行ったことで利用者への配慮、例えば利用者を空間に一人保持しなくなった、手引き歩行の技術が向上した等に繋がりました。</p> <p>運動においては新型コロナウイルス感染対策を実施しながら、アリーナくにとみ屋外のウォーキング、個別リハビリを中心に継続して行った。また法人内の実践研究において個別の運動機能評価結果をまとめ、実際にふれあいの利用者も運動機能が低下しており、今後も継続して取り組んでいく必要があることを改めて理解しました。</p> <p>音楽活動において、新型コロナウイルス感染症により発表する機会を設けることが難しくSKBのメンバーの演奏する意欲の低下が見られた時期もありましたが、3月にミニコンサートの開催を決めてからは、意欲や楽しみを取り戻し、ミニコンサートでは大いに盛り上がる事が出来ました。</p>
--

4. 権利擁護研修

<p>エデンの園ふれあい職員会の中で、毎月権利擁護研修担当職員を決め研修を実施しました。今年度の研修内容の特徴としては、利用者の高齢化に伴い認知症の症状が少しずつ現れる利用者も増えてきたこともあり、利用者個々に関する支援の方法や検討、考え方についてのワークや意見交換を行う機会が多くありました。その様な研修を通じて新しい気付きや実際に起こっている支援での困りごとを共有することができ、その後の支援の方向付けをすることが出来ました。また、認知症と関連が深いダウン症についても基本的な障害像をテーマに研修を行う機会も増えました。</p>
--

5. 行事報告

行事名	日程	参加者数
イースター	4月18日	16名
外出（コロナ自粛のためふれあい内BBQ）	5月27日	21名
防災訓練	6月30日	21名
夏祭り	7月17日	19名
外出（コロナ自粛のためふれあい内	10月28日	19名
スポーツレクリエーション	11月13日	23名
クリスマス会	12月25日	19名
ぜんざい会（正月遊び）	9日（1月4日～8日）	16名
防災訓練	2月18日	22名
ミニコンサート	3月5日	24名

6. 事故報告

○事項報告（宮崎県報告事案）

実績なし

7. 苦情解決

実績なし

8. ボランティア

実績なし

9. 実習生

No	期間	学校名・施設名	人数
1	11月12日	宮崎県立みやざき中央支援学校	1
2	11月16日、24日	宮崎県立みやざき中央支援学校	1
3	11月20日、26日、27日	宮崎県立みやざき中央支援学校	1

10. 指導監査・実地指導報告

※令和2年度に実地指導を受けた事業所は報告。

	実地指導結果	改善事項
1	（内容及び手続きの説明及び同意について） （運営規定について） 営業時間について、重要事項説明書と運営規定の記載内容を一致させること。なお、運営規定を改正したときは、変更届を提出すること。	重要事項説明書の営業時間を運営規定の営業時間に合わせて変更を行った。
2	（勤務体制の確保等について） 勤務表に、常勤・非常勤の別を記載し、勤務体制が確保されていることを明確にすること。	10月の勤務表から常勤・非常勤の記載を行った。
3	（重度障害者支援加算について） 当該加算を算定する場合は、強度行動障害者支援者養成研修（実践研修）修了者又は行動援護従事者養成研修修了者が、強度行動障害を有する者について支援計画シートを作成すること。	過誤請求分の介護給付費及び利用者負担金について、市町村及び利用者に対して返還する。これから対象者のリストアップ、支援計画シートの作成等を行い、重度障害者支援加算算定の準備が出来た方から算定を開始する。

9. エデンホーム三名

主任・サービス管理責任者 林 裕一

1. サービス実績

○サービス名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
延べ人数	360	370	336	341	341	330	341	330	341	341	329	372
1日平均	12	11.9	11.2	11	11	11	11	11	11	11	11.7	12

2. 重点目標

項目	評価点	評価
健康管理 <ul style="list-style-type: none"> ・「利用者の生活史」を読み込んで情報の共有に努めます。 ・「生活シート」を作成し、平常時の状態把握することにより、異常の早期発見に努めます。 ・家族や関係機関、医務保健課との連携を図り、統一した支援で安心できる生活につなげます。 ・感染症予防に努めます。 	3・ 2 ・1	<ul style="list-style-type: none"> ・生活史の更新を行うことは出来ませんでした。 ・生活シートについては、年度初めの職員会において、生活シート作成の意義と方法について研修を行いました。又、法人内研修も受講し生活シートについての重要性を認識出来ました。作成には至っておらずアセスメントのみでした。 ・医療連携を通して看護師と連携をとることが出来ました。結果、体調を崩し日中サービスを休んだ日は延べ4日間（2名）であった。 ・新型コロナ感染症渦において、研修はもとより、啓発にも力を注ぎました。結果、新型コロナウイルスに限らず、他の感染症の発症もありませんでした。利用者も含め、感染症予防に対する意識が高まった1年となりました。
余暇の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意思に基づいて余暇を実施し、体験や経験を積み重ねます。 ・生活シートにより利用者の意向、可能性、思い等を把握し、余暇を提供します。 ・地域行事へ積極的に参加します。 	3・ 2 ・1	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症により、体験や経験の場の提供は出来ませんでした。その中でも、利用者の希望を聞き、余暇支援に取り組みました。調理やおやつ作りは好評でした。 ・アセスメントの段階で意向や思いが見えてきました。次年度へ向けては、自治会を充実させ利用者の想いを受け止め、意思形成支援を図り、余暇の充実に繋げたいです。
人材（財）育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ホーム関係会議を充実させ、職員の専門性、資質の向上に努めます。 ・働きやすい職場環境を整備します。 ・事業所職員の課題を明確にし、解決に向けて取り組んでいきます。 	3・2・ 1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会や生活支援員会を通して、強度行動障害者支援（冰山モデル）、加算算定に伴う支援や記録の重要性等実施しました。専門性、資質の向上については、法人内の第1回実践研究発表大会で発表したストレングスに着目した支援の実践をパート職員、夜勤専門職員にも講義し、統一した支援の重要性を共有する事ができました。 ・お互いが認め合い、足りないものを補い合いあう事業所を目指しましたが、整える事は出来ませんでした。 ・人事評価により、課題や期待することを伝えましたが、改善に導くことは出来ませんでした。

3=実施できた・2=実施したが不十分・1=実施できなかった

3. 活動報告

グループホームにおける入浴、排せつ、食事の介護、その他の日常生活上の相談、援助サービスを踏まえ、豊かな生活を送るには健康が重要であり、毎朝の健康観察、定期通院、医療連携を通して健康維持に努めました。食事に関しても管理栄養士よりアドバイスをもらい、健康に配慮した食事の提供が出来つつあります。手洗い消毒への意識付けも行うことができました。

余暇活動支援は、利用者から要望や意見を聞き、実施の方法を模索しながら行いました。実施出来ていなかった自治会も再開しました。

その他、ホームみらいにおいては総合防災訓練を実施（2回/年）し、各ホームで毎月の避難訓練も行いました。

生活への不安の軽減、共同生活による身体・精神状態の安定などを図りました。

4. 権利擁護研修

毎月の職員会にて、その月の担当職員がテーマを決め権利擁護研修を実施しました。研修の内容は、外部研修での復命研修、担当利用者支援困りごと、利用者支援の心得から実際の支援を考えるなどでした。又、普段会議に参加の出来ない、パート職員や夜間専門職員においても生活支援委員会（年2回）にて研修を実施しました。エデンホーム三名の権利擁護スローガンから「認め合うことがちからになる」をテーマに行いました。グループホームの事業所の特徴は虐待が起こりやすい環境であることも伝えました。しかし、虐待事案として2件、宮崎県と管轄行政に報告を行いました。

5. 行事報告

行事名	日程	参加者数
望年会（各ホームで実施）	令和2年12月26日	11名

6. 通院状況

診療科	外科	歯科	内科	皮膚科	呼吸器科	眼科	耳鼻科	泌尿器科	計
件数	30	11	10	7	4	2	1	1	51

○健康診断 11名実施

○各種検診（胃・大腸・肺・前立腺・乳がん）10名実施 ※一部検診は新型コロナの関係で中止。

7. 事故報告

○事項報告（宮崎県報告事案）

月	内容	件数
12月	ドライブ中の横転事故	1件（利用者4名）

8. 苦情解決

実績なし

9. ボランティア

実績なし

10. 実習生

実績なし

11. 指導監査・実地指導報告

実地指導実施なし

10. 第2福祉課

主任 坂元 淑子

1. 重点目標

項目	評価点	評価
(1) 円滑で透明感のある事業運営を行います。	3・ 2 ・1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所間でも情報共有を行いつつ運営にあたりました。職員間の報告・連絡・相談においてはより意識的に取り組む必要がありました。 ・報酬請求を各事業所で行うようになりました。初年度という事もあり、過誤請求がありました。 ・ガバナンス委員会が開かれず、令和3年度法改正に向けた対応は積極的に行われませんでした。 ・一粒の麦は、学校や地区住民の方に配布しました。事業所の広報誌の配布も適宜行いました。
(2) 利用者の満足度が向上できる生活を目指します。	3・ 2 ・1	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中制限がかけられ利用者の不満が募る事もありましたが、できる範囲で工夫をしたり、説明を行いました。 ・前年のような利用者アンケートは行いませんでした。麦わらぼうしでは例年通り家族と職員対象のアンケートを実施し、公表しました。 ・権利擁護に関しては事業所ごとに職員会開催時等を利用して研修を行いました。また、県主催の「権利擁護・虐待防止研修」に参加した職員による復命研修も開かれました。
(3) より具体的な地域における公益的な取り組みを実践します。	3・ 2 ・1	<ul style="list-style-type: none"> ・「入浴サービス」の利用にあたっては、相談支援事業所と麦わらぼうしとが連携して実施できました。 ・町社協主催のカフェ（引きこもり対象）には職員を派遣し、アドバイス等を行いました。
(4) 災害発生時に施設機能を地域へ還元します。	3・2・ 1	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ仕組みや体制が整いませんでした。地域での火災をきっかけに地域福祉支援センターの在り方についての意見が出た事もあり、今後の課題として取り組んでいきます。
(5) 自己研鑽の場としての人材（財）育成・実習生育成に尽力します。	3・ 2 ・1	<ul style="list-style-type: none"> ・意識は高まってきていますが、コロナ禍で実習は実施されませんでした。つむぎでは31年度の実習生2名が利用に繋がりました。行事等の実施自体が少なく、麦わらぼうしのアルバイト生は2名のみでした。
(6) 年間を通して万全の感染症対策を行います。	3 ・2・1	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、医務保健課や感染症対策委員会と連携を取り、事業所間の往来や事業所内の分離等、しっかりと対策を取って感染を防ぐことができました。
(7) 日頃からの防災意識を高め火災を発生させないよう努めます。	3・ 2 ・1	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所とも定期的に避難訓練を実施し、防災に対する意識を高めることが出来ました。 ・地元消防団との定期的な意見交換や情報提供は行っていません。

3=実施できた・2=実施したが不十分・1=実施できなかった

1 1. エデンホーム森永

チーフ 保利 翼 サービス管理責任者 五島 千恵子

1. サービス実績

○共同生活援助

・青い鳥

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
利用予定数	210	217	210	217	217	210	217	210	217	217	196	217
利用実績数	210	214	204	215	216	201	213	202	217	217	196	217
稼働率	100%	98.6%	97.1%	99%	99.5%	95.7%	98.1%	96.1%	100%	100%	100%	100%

・ほのか

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
利用予定数	210	217	210	217	217	210	217	210	217	217	196	217
利用実績数	210	216	207	206	216	194	184	199	217	217	196	217
稼働率	100%	99.5%	98.5%	94.9%	99.5%	92.3%	84.7%	94.7%	100%	100%	100%	100%

2. 重点目標

項目	評価点	評価
・安心、豊かさ、生きがいの利用者支援の健康管理に努めます。	3・ <u>2</u> ・1	毎身体脂肪測定を実施。休日や平日の空いた時間には、室内運動・屋外周辺散歩（ルームランナー含む）を積極的に導入し、運動する機会を増やしました。また自立支援の一環として、個別支援計画書に則り、利用者によっては役割の明確化を行い、生きがいに繋げました。
・高齢者支援の仕組み 65歳問題と向合い、生活されている利用利用者及びご家族関係者が安心していただけるだけの環境を考えて次世代のグループホームホームを目指せるよう模索、提案を行います。	3・2・ <u>1</u>	利用者の毎月のアセスメント実施やカンファレンスでの各職員の情報共有は出来ましたが、実際に支援として行った事例は少なく、高齢者支援に対する対策としても、介護技術の勉強会など実施することが出来ませんでした。障害のみならず、高齢分野での介護技術・法律関係の知識・技術向上が望ましいと思われました。
・地域生活支援拠点と地域貢献（地域共生社会） 日々の生活に地域行事等の参加を進んで行き、交流を深めます。また、グループホームでの行事にも地域の方が参加出来る仕組みを作ります。	3・2・ <u>1</u>	今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、地域の方々との交流・行事への参加の仕組みづくりについて実施することができませんでした。また地域で行われる行事にも、参加を中止しました。
・人材（財）育成及び健全な財務管理 ○利用者の健康状態に合わせ、支援を行えるように専門性を磨いていきます。 ○職場環境を生活の場として捉え、安心して生活が送れるよう整備を行います。 ○収支のバランスを考え備品管理等を行い、健全な運営に対する考え方の意識向上を行います。 ○施設内研修には、率先して参加できるような体制を整えます。 ○職員の自己研鑽に協力を行います。	3・ <u>2</u> ・1	研修などには全員が参加できる体制を作るべく、勤務表の方にて参加予定日を管理して、参加できる体制を実施しました。 コロナウイルス感染防止の観点から、外部への研修参加には難しい部分もあり、自己研鑽における協力は実施出来ませんでした。 経費を抑えるために、職員一同節水・節電に心がけ、備品等の再利用も積極的にを行いながら、コスト削減を意識した生活に繋がられるよう努力しました。

3=実施できた・2=実施したが不十分・1=実施できなかった

3. 活動報告

- ・総合検診「特定検診」(5月)～コロナウイルス関係で延期。
※11月に延期分が実施されたが、ほのか利用者のみ実施。
- ・障がい者スポーツ大会(6～7月)～コロナウイルス関係で中止。
- ・自治会～毎月実施。(各ホームにて)
- ・外出介護(外出援護)～コロナ関係で殆ど中止。(向陽の里⇒11月のみ。)(こんぱす⇒9・10・11月のみ)
- ・肺がん検診～11月に両ホームとも実施。
- ・GH職員会～毎月実施。
・ホームミーティング～毎月実施。
- ・生活支援委員会～6/15(ほのか)6/29(青い鳥)・2/19(ほのか)2/25(青い鳥)※各ホーム年2回実施。

4. 権利擁護研修

○実績

権利擁護の推進に伴い、ホーム職員会時には毎月1回担当を決め、それぞれの内容で権利擁護研修の実施しました。時には、権利擁護委員会の委員より、委員会で挙げた項目について話し合う機会もあり、職員一人ひとり身近な部分で権利擁護に触れることができました。また年度末には、権利擁護・虐待防止研修の外部研修を受けた職員より施設全体での権利擁護研修も開催され、ホーム職員全員(夜勤専従職員以外)参加し、年度の振り返りとして、見直す機会となりました。

○権利擁護研修日程

月	内容	担当者
4	権利擁護制度について(権利擁護・虐待防止の視点)	小山 秀樹
5	障がい者虐待の種類・内容について	保利 翼
6	人権と尊厳の理解について(日々の支援について振り返り)	安藤 剛
7	「聴く」「観る」「感じる」「考える」「支える」「共感」とは?	廣瀬 恵
8	障がい者虐待について(外部研修での報告)	五島 千恵子
9	アンガーマネジメント	五島 千恵子
10	虐待事案の根底にあるネガティブ視点について	築地 弘子
11	利用者の自己選択と家族の思い(権利擁護委員会より)	五島 千恵子
12	権利擁護の基本的視点	朝倉 志帆
1	人権擁護(利用者・職員という立場性)について	安藤 剛
2	虐待防止体制について	蓑毛 摩理
3	氷山モデル(事例から根底にある要因を見つける)	保利 翼

5. 行事報告

行事名	日程	参加者数
敬老会 (ほのか)	令和2年9月21日 (月)	13名
萩の台ピクニック	令和2年11月22日 (日)	11名
クリスマス会 (青い鳥)	令和2年12月24日 (木)	11名
クリスマス会 (ほのか)	令和2年12月27日 (日)	13名
合同花見	令和3年3月20日 (土)	19名

6. 通院状況

診療科	外科	歯科	内科	皮膚科	呼吸器科	眼科	耳鼻科	泌尿器科	計
件数	82	11	59	22	0	6	1	19	200

○健康診断 14名実施

○各種検診 (胃・大腸・肺・前立腺・乳がん) 14名実施 ※一部検診は新型コロナの関係で中止。

○婦人科健診 1名実施

7. 事故報告

○事項報告 (宮崎県報告事案)

実績なし

8. 苦情解決

実績なし

9. ボランティア

実績なし

10. 実習生

実績なし

11. 指導監査・実地指導報告

実地指導実施なし

12. その他

「災害関係」

・大型台風 (10号) 接近に伴い、青い鳥利用者 (7名) ほのかへ避難。

※職員3名夜勤体制で、14名の利用者を支援。(9/6~9/7)

「コロナウイルス関係」

・法人内感染発症者が出た際の想定訓練実施。

※青い鳥 (職員2名) ・ほのか (職員2名) での対応。(8/19~8/21)

その他職員は応援体制として、他事業所のヘルプや自宅自粛対応。

12. ほのかショートステイ

チーフ 保利 翼 サービス管理責任者 五島 千恵子

1. サービス実績

○ショートステイ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
延べ人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
利用日数	0	0	10	2	0	4	5	17	28	0	0	9
利用者	0	0	3	1	0	1	1	3	1	0	0	2
稼働率	0%	0%	33.3%	6.4%	0%	13.3%	16.1%	56.6%	90.3%	0%	0%	29%

2. 重点目標

項目	評価点	評価
・緊急時(主たる介護者の入院等)に、安心して利用していただけるように、準備を整えます。	3・ 2 ・1	相談支援事業所及び他事業所のサービス管理責任者と情報共有(連絡)した上で、勤務調整などの対応を行い、緊急時でも対応できる体制づくりを行いました。
・ご家族関係者等の負担軽減への協力を行います。	3・ 2 ・1	利用開始時・終了時において、本人以外にもご家族の方ともコンタクトを図る時間を作り、自宅での様子・困りごとなどについてお話を聞き、相談支援員との情報共有に繋げることができました。
・利用時は、アセスメントを行い、利用者一人ひとりに合ったサービスを目指し、不安・不便なく生活が出来るように努めます。	3・2・ 1	初めての利用者や期間の空いた利用者のアセスメントは図れていましたが、月に何度も利用される方に関しては、その都度のアセスメントは実施出来ていませんでした。

3=実施できた・2=実施したが不十分・1=実施できなかった

3. 苦情解決

なし

4. その他

「コロナウイルス関係」

※稼働率0%の部分としては、コロナ関係で利用が停止となっていた期間である。11月・12月・3月に至っては、コロナで利用が停止していたが、緊急を要する部分という事で緊急利用となっている。

「緊急利用関係」

- ・Y.K様(相談支援より相談)⇒ご家族の入院に伴い緊急利用。(10/26～10/30の5日間)
- ・Y.H様(相談支援より相談)⇒ご家族の入院に伴い緊急利用。(11/25～12/28の34日間)
- ・H.S様(相談支援より相談)⇒緊急利用。

13. エデンの園相談支援事業所

チーフ・相談支援専門員 長友 真佐子

1. サービス実績

○計画相談支援・児童計画支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規契約者	7	6	5	10	3	4	11	3	3	0	5	1	58
契約終了	0	1	0	0	1	0	2	0	0	3	1	79	87
実績（成人）	43	38	29	39	36	25	31	23	23	41	42	33	403
実績（児童）	47	16	23	25	28	22	37	12	13	27	17	22	289
実績合計	90	54	52	64	64	47	68	35	36	68	59	55	692
職員数	4	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	-
平均件数（件/人）	22.50	13.50	17.33	21.33	16.00	11.75	17.00	8.75	9.00	17.00	14.75	13.75	15.22/月

※契約終了者；サービス利用終了・転居による～14人 事業所変更による～73人

2. 重点目標

項目	評価点	評価
人材（財）育成	3・2・1	年度当初から、職員と定期的な面談を行い、よりよい支援につながるようなモニタリングの方法や記入の仕方の検討、効率的な業務整理など、日常業務の中で検討が必要なことに関して、やり取りを行い、互いに高めあえるように心掛けました。各種研修や勉強会等は、コロナ禍にあり中止や延期がとて多く、ZOOMの研修もいくつか実施されましたが、研修等により知識の向上等には繋がりませんでした。8月には、新入職員が配属となった為、同行訪問を行い業務引継ぎを行い、質問を受けながら、以前勤めておられた事業所との違い等について確認しました。
信頼関係作りと連携	3・2・1	利用者、事業所、家族等への連絡等を密に行うことで、関係作りを行っていきけるように努めました。しかし、場合によっては、不十分な部分もあり、すべての利用者、家族、事業所等との関係作りができたとは言えませんでした。計画更新時とは別に、必要時に関係者一同を介した担当者会議においては、できる限り実施を行うようにし、前年度に比べて、担当者会議の実施件数は増えたと思いますが、コロナ禍にあり、人との接触をできる限り控えた時期も長く、一同を介した会議等の実施も難しい時期があり、電話等でやり取りを行うなどで対応しました。
利用者の持っている力を最大限に引き出す支援	3・2・1	計画作成、計画の更新、変更新生児など、サービス利用の必要性、支援の回数や時間の検討など、利用者や家族、事業所の希望されるままに計画案作成を行うのではなく、アセスメントを行い、検討を行うようにし、各市町村との協議も含めて、家族の協力や近隣住民等の協力も得て、何より、ご自身でできる事は行うことで自立を妨げないという意識をもって、過不足ない福祉サービスの利用に繋げました。
地域の根差した事業所	3・2・1	コロナ禍にあり、国富町との連携協議会なども実施が難しく、介護支援専門員との顔の見える関係作りなども難しい状況でした。しかし、そのような状況の中でも、電話で綾町や国富町の役場福祉課、包括支援センターより、障害福祉サービスのことについて

		質問を受けるなど、事業所の存在について浸透してきたのではないかと思います。
--	--	---------------------------------------

3=実施できた・2=実施したが不十分・1=実施できなかった

3. 活動報告

前年度は、事業所の開拓や国富町との連携強化、介護支援専門員との関係作りなどを行うことができたが、今年度は、コロナ禍になり、協議会や研修など中止になったり、ZOOMでの研修になったこともあり、また、訪問や外出、人との接触をできる限り控える期間も長く、関係作りなど難しい部分があり、事業所としての活動はほぼできませんでした。

4. 権利擁護研修

毎週1回程度「伝達研修」という形で（定期的に実施できず、不定期開催となった）利用者の支援についての議論や伝達事項の確認などを行い、その中で、利用者の権利擁護についても議論を行いました。また、虐待防止・権利擁護研修に参加した職員の伝達研修に、リモートではあったが参加しました。

5. 事故報告

○事項報告（宮崎県報告事案）

県への報告事案はなかった。

※報告事案ではなかったが、契約者の生活の場の確保について、県と連絡を取りながら相談支援を実施。

6. 苦情解決

申出人	内容	対応
家族A	家族 A から、担当相談員が利用児に関する事について、学校に情報提供を行うと言っていたのに何の対応もしていなかったことや計画更新が遅れており、そのことについて謝罪せずに手続きを催促してきたことを苦情として電話してこられた。	担当相談員が休職中であったため、別の相談員が自宅へ訪問し謝罪。また、お渡しできていなかった書類をお渡しし、その相談員に担当を変更することを伝えた。その際、笑顔で了承された。
B 保育園 C 役場	B 保育園から、小学校と保育園や福祉事業所等との、新年度に入学予定の年長児の情報を共有する『連絡会』についての話があった。C 役場からは B 保育園から連絡会のことで苦情があったが、利用児の母親とどんな話をしたのか確認があった。担当相談員は、連絡会が家族に伝えないものという認識がなく、利用児について、連絡会に不参加だった利用事業所の情報と合わせて、連絡会で共有された保育園の情報も伝えていた。	担当相談員が当該母親に不安を与えてしまったことを謝罪。B 保育園にも、保育園の了承も得ずに内容を伝えてしまった事と個人情報の取り扱いや連絡会の趣旨を把握していなかった事について謝罪した。情報の取り扱いについて細心の注意を払っていく。今回のような場合、家族から情報を求められても、「保育園から直接報告を受けてください。」と伝える。

7. ボランティア

コロナ禍になり、受け入れ中止にて実績なし

8. 実習生

コロナ禍になり、受け入れ中止にて実績なし

9. 指導監査・実地指導報告

実地指導実施なし

課後等デイサービス 麦わらぼうし

チーフ 山本 和寛 児童発達管理責任者 寺田 法子

1. サービス実績

○放課後等デイサービス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
開所日数	25	24	25	26	26	23	25	24	24	23	23	25
延べ人数	322	317	351	315	288	289	331	291	295	274	280	318
1日平均	12.8	13.8	13.5	12.6	11.5	12.0	12.3	12.7	12.3	11.9	12.7	12.2

2. 重点目標

項目	評価点	評価
<p>○利用児や家族の満足度を高めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所評価表アンケートの回収率を上げ、適切な評価を得ます。 ・利用児にも評価アンケート(聞き取り)を行います。 	3・ 2 ・1	<p>各家庭への事業所評価表を配布しました。家族への呼びかけもあり、今年度の回収率は84%と前年度を大きく上回りました。児童への評価アンケートは作成することができなりましたが、個々に話の中で事業所の話をして、児童が求めている事などの聞き取りを適宜行いました。目標である満足度を高めるといふことには直接的に繋がっていませんが、事業所の評価をすることで、客観的に事業所を見る事が出来ました。</p>
<p>○職員の資質の向上を図ります。(人材育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもがまんなか」を基本に、児童の育ちを考えます。また、活動や行事は利用児の声を聴き、どうすれば実現できるかを考え、立案・実施することを心がけます。 ・重症心身障がい児や自閉症児等の支援に関する知識、技術の向上を図るために、特別支援学校や発達支援センター等での見学研修を行います。 	3・2・ 1	<p>スローガンでもある「子どもがまんなか」を念頭に、日々業務遂行を行いました。活動に関して、屋外での活動を好む児童が多く、天気の良い日は積極的に屋外活動を取り入れました。行事では、コロナ感染予防を行い、規模を縮小して実施しました。年間で予定していた魚釣りに関しては、実施日の1週間前後に大きな地震が発生し、津波の危険も考えられた為、実施を断念しました。他の行事に関しては、コロナ感染予防の観点から殆どの行事を中止し、ハロウィンとクリスマス会のみ規模を縮小して実施しました。</p> <p>他機関の見学研修について、コロナ感染流行もあり、実施できませんでした。しかし、個別の支援方法を事業所間で相談・周知を行う事で、他事業所と統一した支援を目指すことができました。</p>
<p>○地域のニーズに応え、地域に役立つ事業所を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重症心身障がい児の受け入れ態勢を整え、ニーズに応えます。 ・保育所等訪問支援事業に向けての準備を行います。 	3・2・ 1	<p>重症心身障がい児受入れに向けて、看護師を配置していました。しかし申請までは至らず、又その後の申し込みもなく実際のサービスは行っていません。保育所等訪問支援事業に関して、学校に問い合わせを行いました。一部の学校からは、この事業に対して苦手意識が働いている学校もあるとの情報がありました。コロナ感染拡大防止の観点から、事業の準備が行えませんでした。</p>

3=実施できた・2=実施したが不十分・1=実施できなかった

3. 活動報告

コロナ感染対策を徹底しながらの活動を行いました。屋内でも換気・加湿、消毒、マスクの着用を常に行いながら、コロナウイルス以外の感染症予防にも努めました。室内でSST（ソーシャルスキルトレーニング）を中心に、ルール性のある活動を実施しました。屋外での活動では、森永公園で人混みを避けながらの活動となりました。休日での支援では、感染予防対策をとることで行動範囲が狭まったものの、自然と触れ合う活動をメインとし、家庭環境によっては体験が乏しい児童もいる為、良い経験になりました。運動では、ストレッチやランニングを中心に、体力向上に向けて取り組みました。

通常の活動について、連動性をもたす活動も実施しました。日々の活動の中で【買い物ごっこ】を実施し、麦わらぼうし専用の通貨を準備し、事業所内で買い物練習を数回に分けて行いました。実践として、近くのスーパーに各家庭で準備した実際のお金を使い、おやつのお買い物を行いました。連動性をもつことで、活動の内容の幅や説得力もあがり、良い経験になりました。

4. 権利擁護研修

毎月の事業所職員会で、持ち回りで行いました。職員一人ひとりが研修をすることで、意識付けにも繋がりました。4月には、1課の四位チーフによる熱中症についての研修を実施し、他事業所の方の権利擁護研修もいつもと違った雰囲気でも体験することが出来ました。

○権利擁護研修日程

月	内容	担当者
4	体罰防止について	寺田法子
5	熱中症「0」を目指して	四位チーフ（1課）
6	エゴグラム	緒方市郎
7	2月の権利擁護復習	坂元淑子
8	《延期》	
9	権利擁護アンケートの結果	寺田法子
10	報連相の仕組み	金氣ヒトミ
11	「子どもの権利条約」子どもの権利は大きく分けて4つ	福本未紅
12	参加する権利について	鳥原千春
1	新年の支援に対しての心構え	星崎悠成
2	エデンの園 行動計画～働き方改革～	山本和寛
3	集団の中で個を視るために	寺田法子

5. 行事報告

行事名	日程	参加者数
イースター	4月17日	利用児童11名
芋の苗植え※中止	5月2日	
魚釣り体験※中止	5月9日	
家族会	6月27日	保護者8名、

流しそうめん	8月19日、29日	合計利用児童19名
デイキャンプ※中止	8月29日	
陶芸教室	9月19日	利用児童11名
事業所開放日※中止	9月26日	
芋堀体験※中止 ※芋を各御家庭で購入	10月19日	
ハロウィンごっこ	10月28日	利用児童13名
釈迦岳登山※中止 (代替) 平和台公園ウォーキング※中止	11月7日	
クリスマス会	12月19日	利用児童11名・来賓2名
家族親睦会(※中止)	2月29日	
お別れ遠足	3月27日	利用児童17名

6. 事故報告

○事項報告（宮崎県報告事案）

月	内 容	件 数
1月30日	綾方面の帰り送迎を児童2名乗せて行っていた。交差点に差し掛かったときに、当事業所の公用車と通行車の交通事故が発生。当事業所の公用車は、事故の衝撃で車道に横転した。近くを通りかかった数名の方によって、児童2名、職員1名が救出された。職員が、軽い怪我をしたのみで、児童2名に怪我はなかった。	1件

7. 苦情解決

申出人	内 容	対 応
家族A	職員の連携不足で送迎の順番に間違いがあり、家族Aと引継ぎを行わないまま当該児童を自宅へ送り届けた。また、その後の職員の対応にも家族Aは不快を示し、併せて苦情を挙げられた。	チーフ、児発管、対応職員で謝罪し、報告書と近日中に対策を報告する旨を伝えた。その後、家族引き渡しのマニュアルを作成。

8. ボランティア

実績なし

9. 実習生

No	期 間	学校名・施設名	人 数
1	10月15日、17日	宮崎国際大学	1

10. 指導監査・実地指導報告

実地指導実施なし

15. 就労継続支援B型 つむぎ

チーフ 大山 貴司 サービス管理責任者 藤坂 由紀

1. サービス実績

○就労継続支援B型

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
開所日数	22	23	22	23	23	23	23	22	23	23	20	23
延べ人数	387	387	431	432	367	406	445	403	422	414	405	472
1日平均	17.6	16.8	19.6	18.8	16	18.5	19.3	18.3	18.3	18	20.3	23.6

2. 重点目標

項目	評価点	評価
① 働く意欲と工賃が直結するよう工賃向上を図り、月平均工賃19,000円を目指します。個別支援計画と連動させた工賃向上計画を策定し、利用者の「成長」を支援します。	3・ 2 ・1	・コロナ禍にあり、作業活動が大きく制限されるなかで、利用者と職員が一体となり目標達成に向け日々励んだが目標を達成することは出来ませんでした。また、個別支援計画と工賃向上計画の連動については多くの制限のある中で再度利用者の特性や興味をアセスメントし個々にあった作業を最確認する事が出来ました。
② 各支援機関（特別支援学校・障害福祉サービス事業所）と連携し、「働く場」へ円滑に移行するための支援体制の構築をします。東諸県地域で働く一員として、活躍する場である農福連携を推進します。	3 ・2・1	・今年度も新しい仲間が増え、作業目的や内容を利用者間で共有が出来たことで、チームで働く事の楽しさ等を利用者、一人ひとりがそれぞれの場所で経験しました。結果、利用者一人ひとりの働くことへの意識を高める事が出来ました。農福連携については着実に地域での認識が広がっており、更なる広がりが期待できると考えます。
③ 職員個々のスキルアップを図るため、必要な研修を実施し、具体的活動計画に基づき「自主的に活動ができる職員」の育成を目指します。5S活動を展開し、「ムダ・ムリ・ムラ」のない環境整備を行います。	3・ 2 ・1	・多くの研修が開催未実施となり、法人外での研修に参加することが出来ませんでした。職員各個で自己研鑽に励む職員も散見されました。次年度も5S活動を念頭に置き「自主的に具体的活動出来る職員」の育成を継続していきます。また、職場環境の整備を進めたいと考えます。

3=実施できた・2=実施したが不十分・1=実施できなかった

3. 活動報告

新型コロナウイルス感染症対策の為、活動の制限を課することがある中でも、各職員が創意工夫を行い目標達成に向け努力したことで、概ね満足できる結果を得る事ができました。

4. 権利擁護研修

○実績

職員会の中で、毎月権利擁護研修の担当職員を決め研修を実施しました。内容についても担当する職員が支援を行うなかで気づいたことや疑問に感じたことなどであった為、新しい気付きや実際に行っている支援の困りごと等を共有し、その後の支援につなげることが出来ました。

○権利擁護研修日程

月	内容	担当者
4	未実施	
5	権利擁護とは	大山職員
6	意思決定支援について	大山職員
7	権利擁護の視点と虐待防止	大平職員
8	障がい者の就業支援	長友職員
9	障がい者差別解消法と合理的配慮	藤坂職員
10	福祉施設等における権利擁護と虐待防止	渡辺職員
11	未実施	
12	就労継続支援B型の対象者について	外赤職員
1	成年後見人等の業務について	大山職員
2	薬物依存から行為・プロセス依存の時代へ	大山職員
3	障害年金について	大平職員

5. 行事報告

行事名	日程	参加者数
レクリエーション	8月29日	27名
芋ほり体験	10月17日	5名
望年会	12月5日	28名

6. 事故報告

○事項報告（宮崎県報告事案）

実績なし

7. 苦情解決

申出人	内容	対応
家族A	朝の送迎時に職員に対しズボンが紛失しているとの申し出があった。その後、父親に対し、他利用者がズボンを盗ったとの発言があり。母親が来所される。 ①鞆のファスナーが頻繁に破損する②自宅で壁を叩く行為を繰り返す③反抗的な態度や言葉遣いが悪い④鞆に常にゴミが入っている、とのことを教えていただいた。	今後同じことが起きないように、職員と一緒に来所時と帰宅前に鞆の中身を確認し、持参物を連絡帳へ記載することとした。

7. ボランティア

	期日	行事名	個人・団体名	人数	内容
1	10月17日	芋収穫	荒綾農産	1名	農業指導

8. 実習生

実績なし

9. 指導監査・実地指導報告

実地指導実施なし

16. 地域貢献事業 じょいほっぷ

担当者 林 裕一

1. サービス実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
延べ人数	0	0	1	0	0	13	32	23	0	0	0	0

2. 活動報告

- ・新型コロナウイルス感染予防のため、実施した月は4か月であった。営業の曜日を決めたことで、決まった児童のみの利用となった。
- ・サービスの内容は、勉強支援（宿題）・レクリエーション・送迎が主であった。
- ・関係機関との連携、地域との結びつきを目的にあげていたが、新型コロナウイルスの関係で十分に目的を果たすことは出来なかった。

17. 医務保健課

医務保健課 課長 甲斐 さち子

1. サービス実績

今年度より、法人内の看護師・理学療法士・管理栄養士から編成された医務保健課が新たに創設されました。専門職としての、知識と技術を各事業所で発揮しながら、毎月課会を開催し、情報の共有や課題について検討しました。新型コロナウイルス感染症に翻弄されながらも、職員・利用者の健康管理や予防に重きを置き支援にあたりました。

※各事業所に配置された専門職のサービス実績は別紙参照

2. 重点目標

項目	評価点	評価
1. 各事業所において、専門的立場からサポートしていきます。	3・ 2 ・1	・今まで、対症療法での関わりが多かった内容から、担当の充実により、予防の観点から情報収集を行い、早期の対応が出来ました。情報を共有することで、様々な意見交換を行い、より適した対応へと導きました。又、入所施設においては、初めての看取り支援を行うことが出来、尊厳死について振り返りができた事も大きな出来事でした。
2. 感染症予防を行います。	3 ・2・1	・新型コロナウイルス感染症という未曾有の出来事に、感染対策委員会と協力し、対応や対策を行いました。 ・8月には、職員家族による濃厚接触者の可能性を懸念し、エデンホーム4か所と入所利用者数名の隔離対応を行いました。その中でも、多くの課題や検討内容が明らかとなり準備を行いました。 ・研修会の開催やゾーニングの検討にも繋がりました。
3. 利用者・職員の健康づくりを行います。	3・ 2 ・1	・利用者の健診準備から、その結果の検討を行い、必要に応じて受診に繋がりました。 ・職員の健診準備を行い、スムーズな手順で健診を受けることが出来ました。 ・専門的なアドバイスや、健康増進への導きが困難なケースもみられました。

3=実施できた・2=実施したが不十分・1=実施できなかった

3. 活動報告

それぞれの専門性を発揮できる編制となったことから、課会においては様々な意見が聞かれ、それが、職員や利用者の方々へと繋ぎやすくなりました。必要に応じて勉強会やアドバイスを行っていったことで、疾病の予防や早期対応できたことも、効果的でした。

法人全体を把握し、今後も健康で過ごせるよう支援していきたいと思っております。

令和3年6月 発行

決算監査報告書

令和3年6月3日

社会福祉法人エデンの園

理事長 廣瀬 恵 殿

監事

田爪 節子



監事

日高 淳



私たち監事は、R2年4月1日からR3年3月31日までのR2年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

- 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

財産目録

令和 3年 3月 31日 現在

社会福祉法人名 社会福祉法人 エデンの園

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
現金	手元有高	—	運転資金	—	—	60,588
普通預金	宮崎銀行他	—	運転資金	—	—	421,259,279
定期預金	宮崎銀行他	—	運転資金	—	—	48,000,000
			小計			469,319,867
事業未収金	国保連他	—	介護給付費他	—	—	96,792,846
未収金	職員	—	住民税他	—	—	64,204
前払費用	アイビーパートナーズ	—	税理士顧問料他	—	—	584,912
			流動資産合計			566,761,829
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	(第2福祉課)東諸県郡国富町大字竹田228-7	—	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	—	—	16,451,207
	(第2福祉課)東諸県郡国富町大字竹田228-7	—	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	—	—	69,457
	(第2福祉課)東諸県郡国富町大字竹田字今宮20-1	—	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	—	—	25,523,700
	(第2福祉課)東諸県郡国富町大字竹田字今宮20-1	—	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	—	—	15,271
	(第2福祉課)東諸県郡国富町大字竹田字今宮20-1	—	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	—	—	277,358
	(第2福祉課)東諸県郡国富町大字竹田字今宮20-1	—	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	—	—	9,288,000
			小計			51,624,993
建物	(第1福祉課)東諸県郡国富町大字三名2621-5	1988年度	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	193,627,473	106,775,868	86,851,605
	(第1福祉課)東諸県郡国富町大字三名2621-5	1996年度	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	15,391,000	13,851,900	1,539,100
	(第1福祉課)東諸県郡国富町大字三名2621-5	2004年度	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	164,439,710	148,648,143	15,791,567
	(第1福祉課)東諸県郡国富町大字三名2621-5	2004年度	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	304,495,075	119,270,863	185,224,212
	(第1福祉課)東諸県郡国富町大字三名2621-5	2004年度	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	5,350,000	3,286,237	2,063,763
	(第1福祉課)東諸県郡国富町大字三名2621-24	2009年度	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	23,976,557	13,191,198	10,785,359
	(第1福祉課)東諸県郡国富町大字三名2621-8	2010年度	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	29,048,250	20,111,064	8,937,186
	(第1福祉課)東諸県郡国富町大字三名2621-5	2011年度	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	30,502,500	18,563,308	11,939,192
	(第2福祉課)東諸県郡国富町大字竹田228-7	2016年度	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	44,266,390	9,241,795	35,024,595
	(第2福祉課)東諸県郡国富町大字竹田228-7	2016年度	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	44,707,273	9,308,478	35,398,795
	(第2福祉課)東諸県郡国富町大字竹田228-1	2018年度	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	9,018,000	1,216,768	7,801,232
	(第1福祉課)東諸県郡国富町大字三名2621-5	2004年度	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	1,890,000	729,729	1,160,271
	(第1福祉課)東諸県郡国富町大字三名2621-5	2017年度	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	28,421,406	4,475,276	23,946,130
	(第2福祉課)東諸県郡国富町大字竹田字今宮20-1	2018年度	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	61,857,968	7,830,569	54,027,399
			小計			480,490,406
定期預金						1,100,000
			基本財産合計			533,215,399
(2) その他の固定資産						
土地	(第2福祉課)東諸県郡国富町大字竹田228-7	—	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	—	—	16,451,207
	(第2福祉課)東諸県郡国富町大字竹田228-7	—	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	—	—	69,457
	(第2福祉課)東諸県郡国富町大字竹田字今宮20-1	—	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	—	—	25,523,700
	(第2福祉課)東諸県郡国富町大字竹田字今宮20-1	—	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	—	—	15,271
	(第2福祉課)東諸県郡国富町大字竹田字今宮20-1	—	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	—	—	277,358
	(第2福祉課)東諸県郡国富町大字竹田字今宮20-1	—	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	—	—	9,288,000
	その他	—	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	—	—	△ 51,624,993
			小計			0
建物	(第1福祉課)東諸県郡国富町大字三名2621-5	2002年度	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	677,250	677,248	2
	(第2福祉課)東諸県郡綾町大字北俣籠1028	2017年度	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	7,281,300	1,069,224	6,212,076
	(第2福祉課)東諸県郡綾町大字北俣籠1028	2017年度	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	10,726,553	2,873,386	7,853,167
	(第2福祉課)東諸県郡国富町大字竹田228-1	2020年度	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	104,522	13,700	90,822
	(第2福祉課)東諸県郡国富町大字竹田228-1	2020年度	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	204,952	26,865	178,087
			小計			14,334,154
構築物	記念碑 他22件	—	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	50,660,450	32,367,665	18,292,785
機械及び装置	火災通知装置一式 他1件	—	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	787,500	787,498	2
車輛運搬具	ヴォクシー 他9件	—	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	21,168,506	14,844,505	6,324,001
	シエンタ 他1件	—	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	3,798,080	1,662,835	2,135,245
			小計			8,459,246
器具及び備品	ポットミル 他248件	—	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	72,645,543	47,492,211	25,153,332
権利	電話加入権 他5件	—	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	352,191	50,522	301,669
ソフトウェア	支援費請求ソフト 他14件	—	第一種社会福祉法人であるエデンの園に使用している	4,939,840	4,725,730	214,110
借地権	三名財産管理組合	—	敷地使用料	—	—	4,236,000
退職給付引当資産	宮崎県社会福祉協議会	—	退職金として積み立てている	—	—	18,946,661
人件費積立資産	宮崎銀行他	—	将来に備えて積み立てている	—	—	95,000,000
施設・整備等積立資産	宮崎銀行他	—	将来に備えて積み立てている	—	—	7,681,521
設備等整備積立資産	宮崎銀行他	—	将来に備えて積み立てている	—	—	5,000,000
差入保証金	のぞみの家	—	敷金	—	—	150,000
長期前払費用	自動車リサイクル促進センター	—	リサイクル券	—	—	55,040
			その他の固定資産合計			197,824,520
			固定資産合計			731,039,919
			資産合計			1,297,801,748
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	宮崎年金事務所他	—		—	—	13,901,029
その他の未払金	アクティブ他	—		—	—	370,040
1年以内返済予定設備資金借入金	福祉医療機構	—		—	—	1,600,000
預り金	利用者他	—		—	—	6,678
職員預り金	職員	—		—	—	1,220,741
賞与引当金	夏季賞与	—		—	—	19,562,171
			流動負債合計			36,660,659
2 固定負債						
設備資金借入金	福祉医療機構	—		—	—	4,800,000
退職給付引当金	宮崎県社会福祉協議会	—		—	—	18,946,661
			固定負債合計			23,746,661
			負債合計			60,407,320
			差引純資産			1,237,394,428

法人単位貸借対照表

令和 3年 3月 31日 現在

社会福祉法人名 社会福祉法人 エデンの園

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	566,761,829	507,541,186	59,220,643	流動負債	36,660,659	38,972,449	△2,311,790
現金預金	469,319,867	411,197,392	58,122,475	事業未払金	13,901,029	17,841,698	△3,940,669
事業未収金	96,792,846	95,500,622	1,292,224	その他の未払金	370,040	133,094	236,946
未収金	64,204	240,498	△176,294	1年以内返済予定設備資金借入金	1,600,000	1,600,000	0
前払金	0	29,700	△29,700	預り金	6,678	1,410	5,268
前払費用	584,912	572,974	11,938	職員預り金	1,220,741	422,247	798,494
				賞与引当金	19,562,171	18,974,000	588,171
固定資産	731,039,919	772,204,903	△41,164,984	固定負債	23,746,661	24,841,164	△1,094,503
基本財産	533,215,399	571,716,141	△38,500,742	設備資金借入金	4,800,000	6,400,000	△1,600,000
土地	51,624,993	51,624,993	0	退職給付引当金	18,946,661	18,441,164	505,497
建物	480,490,406	518,991,148	△38,500,742	負債の部合計	60,407,320	63,813,613	△3,406,293
定期預金	1,100,000	1,100,000	0	純 資 産 の 部			
その他の固定資産	197,824,520	200,488,762	△2,664,242	基本金	305,299,756	305,299,756	0
建物	14,334,154	15,365,093	△1,030,939	第1号基本金	305,299,756	305,299,756	0
構築物	18,292,785	20,454,651	△2,161,866	国庫補助金等特別積立金	161,615,948	174,488,746	△12,872,798
機械及び装置	2	2	0	その他の積立金	107,681,521	107,681,521	0
車輛運搬具	8,459,246	11,379,324	△2,920,078	人件費積立金	95,000,000	95,000,000	0
器具及び備品	25,153,332	22,020,963	3,132,369	施設・設備整備積立金	7,681,521	7,681,521	0
権利	301,669	312,692	△11,023	設備等整備積立金	5,000,000	5,000,000	0
ソフトウェア	214,110	401,692	△187,582	次期繰越活動増減差額	662,797,203	628,462,453	34,334,750
借地権	4,236,000	4,236,000	0	(うち当期活動増減差額)	34,334,750	26,463,312	7,871,438
退職給付引当資産	18,946,661	18,441,164	505,497				
人件費積立資産	95,000,000	95,000,000	0				
施設・整備等積立資産	7,681,521	7,681,521	0				
設備等整備積立資産	5,000,000	5,000,000	0				
差入保証金	150,000	150,000	0				

法人単位貸借対照表

令和 3年 3月 31日 現在

社会福祉法人名 社会福祉法人 エデンの園

(単位：円)

資 産 の 部				純 資 産 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
長期前払費用	55,040	45,660	9,380	純資産の部合計	1,237,394,428	1,215,932,476	21,461,952
資産の部合計	1,297,801,748	1,279,746,089	18,055,659	負債及び純資産の部合計	1,297,801,748	1,279,746,089	18,055,659

法人単位資金収支計算書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月 31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 エデンの園

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	4,195,300	4,559,800	△364,500	
	障害福祉サービス等事業収入	650,010,800	612,834,975	37,175,825	
	経常経費寄附金収入	1,470,000	1,517,600	△47,600	
	受取利息配当金収入	45,000	14,643	30,357	
	その他の収入	4,724,776	5,108,789	△384,013	
	事業活動収入計(1)	660,445,876	624,035,807	36,410,069	
	支出				
	人件費支出	439,626,445	416,091,920	23,534,525	
	事業費支出	79,215,520	71,607,290	7,608,230	
事務費支出	66,522,722	52,650,783	13,871,939		
就労支援事業支出	5,395,300	5,501,396	△106,096		
その他の支出	420,000	399,522	20,478		
事業活動支出計(2)	591,179,987	546,250,911	44,929,076		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	69,265,889	77,784,896	△8,519,007		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	5,936,000	2,576,829	3,359,171	
	施設整備等収入計(4)	5,936,000	2,576,829	3,359,171	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	1,600,000	1,600,000	0	
固定資産取得支出	12,971,974	11,334,364	1,637,610		
施設整備等支出計(5)	14,571,974	12,934,364	1,637,610		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△8,635,974	△10,357,535	1,721,561		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	8,997,518	2,080,301	6,917,217	
	その他の活動収入計(7)	8,997,518	2,080,301	6,917,217	
	支出				
	積立資産支出	3,381,736	3,026,331	355,405	
その他の活動による支出	1,467,467	4,360,727	△2,893,260		
その他の活動支出計(8)	4,849,203	7,387,058	△2,537,855		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	4,148,315	△5,306,757	9,455,072		
予備費支出(10)	0	-	0		
	△0				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	64,778,230	62,120,604	2,657,626		
前期末支払資金残高(12)	489,142,737	489,142,737	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)	553,920,967	551,263,341	2,657,626		

法人単位事業活動計算書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月 31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 エデンの園

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	就労支援事業収益	5,781,400	3,883,812	1,897,588
	障害福祉サービス等事業収益	612,834,975	578,543,079	34,291,896
	経常経費寄附金収益	1,517,600	512,900	1,004,700
	その他の収益	487,871	2,928,994	△2,441,123
	サービス活動収益計(1)	620,621,846	585,868,785	34,753,061
	費用			
	人件費	417,626,121	418,938,831	△1,312,710
	事業費	71,607,290	56,567,026	15,040,264
	事務費	53,872,383	49,817,834	4,054,549
就労支援事業費用	5,781,400	3,893,812	1,887,588	
減価償却費	52,734,221	41,856,724	10,877,497	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△15,449,627	△10,880,559	△4,569,068	
その他の費用	343,095	227,176	115,919	
サービス活動費用計(2)	586,514,883	560,420,844	26,094,039	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	34,106,963	25,447,941	8,659,022	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	14,643	24,607	△9,964
	その他のサービス活動外収益	4,964,013	1,462,095	3,501,918
	サービス活動外収益計(4)	4,978,656	1,486,702	3,491,954
	費用			
その他のサービス活動外費用	399,522	471,292	△71,770	
サービス活動外費用計(5)	399,522	471,292	△71,770	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	4,579,134	1,015,410	3,563,724	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	38,686,097	26,463,351	12,222,746	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	2,576,829	1,000,000	1,576,829
	特別収益計(8)	2,576,829	1,000,000	1,576,829
	費用			
	固定資産売却損・処分損	0	39	△39
国庫補助金等特別積立金積立額	2,576,829	1,000,000	1,576,829	
その他の特別損失	4,351,347	0	4,351,347	
特別費用計(9)	6,928,176	1,000,039	5,928,137	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△4,351,347	△39	△4,351,308	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	34,334,750	26,463,312	7,871,438	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	628,462,453	567,830,662	60,631,791
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	662,797,203	594,293,974	68,503,229
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	34,168,479	△34,168,479
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	662,797,203	628,462,453	34,334,750